

令和6年度 部の運営方針管理書

部 局 名	健康福祉部
部 局 長 名	飯田 秀勝
部の運営方針	○第四次総合計画の基本目標を推進するため「第6次健康福祉総合計画」及び各部門の計画に基づき、施策や事業に取り組みます。また、計画期間が令和6年度で終了することから、「第7次健康福祉総合計画（令和7年度から令和11年度）」を策定します。 ○地域福祉施策は、すべての市民が、地域で安心して暮らせる「地域共生社会」を目指し、地域で共に支え合う意識の啓発や自治会・まちづくり協議会との連携により、民生委員・児童委員の確保に取り組みます。また、「成年後見制度利用促進基本計画」及び「第2次のちを支え合う自殺対策計画」に基づき、権利擁護や自殺対策、孤立死対策に取り組みます。 ○生活困窮者施策は、生活困窮者自立支援法に基づき、生活困窮者への相談支援に取り組むことを継続します。また、生活保護制度利用者への自立等の支援についても引き続き、関係機関と連携し取り組みます。 ○障害者施策は、障害者が住み慣れた地域で自分らしく安心して生活ができるように、「第4期障害者プラン（障害者計画・障害福祉計画）」に基づく事業を推進します。特に、障害者就労支援の関係機関と連携し、訓練の充実と雇用の促進を図ります。また、NPO法人や社会福祉法人等の関係機関と連携し、地域生活支援拠点等事業や相談支援体制、障害福祉サービス等の充実を図り、障害者の包括的な支援に取り組みます。 ○健康・医療施策は、健康寿命の延伸を目指し、健康づくり・食育・歯と口腔の各種計画を統合した「第2次心も身体も健康プラン」に基づく各種事業を推進します。特に、病気の原因となる危険因子の一次予防を重要な取り組みとして位置付け、「自ら取り組む、みんなで続ける健康づくり」を基本理念とし、市民一人ひとりが主体的な健康づくりに取り組みやすい環境づくりを進めるとともに、令和6年度で計画期間が終了することから、「第3次心も身体も健康プラン（令和7年度から令和18年度）」を策定します。また、安心して妊娠・出産・子育てができるよう、ライフステージに応じた切れ目ない支援に取り組みます。さらに、関係機関と連携しながら、地域医療体制の充実を図るとともに、感染症対策に取り組みます。 ○高齢者施策は、高齢になっても住み慣れた地域で安心して暮らせるように、「第9期介護保険事業計画・第10次高齢者保健福祉計画」に基づく事業を推進します。また、高齢者がその有する能力に応じて自立した生活ができるよう、在宅医療と介護の連携、認知症対策、健康寿命延伸施策を推進し、日常生活の支援が包括的に確保される地域包括ケア体制の充実を図ります。さらに、地域住民をはじめとする多様な主体がつながり、活動する地域共生の取組を推進します。 ○高齢者の保健事業と介護予防の一体的な取組を推進し、高齢者が生き生きと暮らすまちを目指します。 ○国民健康保険事業は、被保険者が必要な医療を安心して受けられるように健全運営を目指し、保険税収納率の向上に取り組むとともに医療

	費の適正化に努めます。特に、「第3期国民健康保険データヘルス計画・第4期特定健康診査等実施計画」に基づいた保健事業を推進し、被保険者の健康増進に努めます。また、国民健康保険の広域化については、引き続き、保険者である県と連携し円滑な運用を図ります。 ○国民健康保険税及び後期高齢者医療保険料、介護保険料の多様な納付方法について周知し利便性の向上に努めます。
--	---

部 局 名	健康福祉部
部 局 長 名	飯田 秀勝
部の運営方針 に対する総合 評価	・第四次総合計画の基本目標を推進するため「健康福祉総合計画」及び各部門の計画に基づき、施策や事業に取り組みました。なお、「健康福祉総合計画」については、健康福祉部門及び子ども部門の個別計画を横断的につなぐ令和7年度から開始となる「第7次健康福祉総合計画」を策定しました。 ・健康福祉部の各施策や事業の主な取り組みとして、地域福祉施策においては、「地域共生社会」の実現を目指し、民生委員・児童委員活動や社会福祉協議会を支援するとともに、自殺対策計画に基づくゲートキーパー等の啓発、成年後見制度の利用促進に係る「成年後見制度利用促進検討委員会」において権利擁護支援のための「中核機関設置」に向けた検討を進めました。 生活困窮者施策では、生活困窮者自立支援法に基づき、生活困窮者への相談支援に取り組むとともに、生活保護制度利用者への自立等へ向けた支援を引き続き関係機関と連携し取り組みました。さらに、国の交付金を活用した物価高騰対策として、家計への影響が大きい低所得世帯への「物価高騰対応生活支援給付金」や「低所得世帯重点支援給付金」等の支給を迅速に行いました。 障害者施策では、「障害者プラン」に基づく、障害者の自立支援事業等を推進し、障害者が住み慣れた地域で自分らしく安心して生活ができるよう取り組みました。また、「チャレンジドオフィスあびこ」において、障害者就労支援に係る訓練に引き続き取り組みました。あらき園では、施設の老朽化対策として、換気設備や給排水設備、外壁改修などの大規模改修工事を実施し、施設の長寿命化を図りました。 健康・医療施策では、健康寿命の延伸を目指し、健康づくり・食育・歯と口腔の健康づくりを一体的に推進するための計画として、「自ら取り組む、みんなで続ける健康づくり」を基本理念とする令和7年度から開始となる「第3次心も身体も健康プラン」を策定しました。また、妊娠届出書提出時の保健師による対面での面接を行えるよう「保健センター我孫子駅前妊娠・育児相談窓口」を開設し、伴走型相談支援の充実を図りました。さらに、地域医療体制における第一次救急を担う市内小児科専門医の不足が深刻であることから、医師会等関係機関と連携しながら、市内西側に小児科を有する診療所を開設する者等に、開業促進につながる千葉県内初の補助金を創設し、募集を開始しました。 高齢者施策では、高齢になっても住み慣れた地域で安心して暮らせるように、「介護保険事業計画・高齢者保健福祉計画」に基づく介護老人福祉施設の整備等を図るとともに、高齢者がその有する能力に応じて自立した生活ができるよう、在宅医療と介護の連携、認知症対策、健康寿命延伸施策などを推進し、日常生活の支援が包括的に確保される地域包括ケア体制の充実を図りました。さらに、今後不足が見込まれる介護従事者の人材確保対策として、市内の福祉事業所が出展する「福祉のしごと相談会」の開催、介護職員養成に係る研修費用助成制度を創設し、研修修了者への助成を行いました。 国民健康保険事業では、事業の安定した運営を図るとともに、健康保険証廃止に伴う保険証利用登録がされたマイナンバーカードを基本と

する仕組みの周知について取り組みました。

・令和6年度の「健康福祉部の運営方針」に対する総合評価としては、健康福祉部各課それぞれの事業を適切に実施・推進するとともに、新たな政策的事業についても円滑に立ち上げ、実施できたことから、運営方針に掲げた各施策の取り組みについては概ね達成できたと評価します。
今後も引き続き、各施策を効果的・効率的に展開できるよう事業の必要性や見直しを図りながら取り組んでいきます。

令和6年度
課の目標管理書

課 名 : 健康福祉部 社会福祉課

1. 課の目標（部の運営方針に基づいた取組方針）

部の運営方針に基づき、以下の取組を進めます。

- ・地域福祉の推進を図るため地域住民の福祉活動支援、外出・移動支援事業、孤立死防止対策事業、献血・骨髄ドナー推進事業、社会福祉法人の法人運営に対する指導監査に取り組みます。また、令和2年度から実施している第6次健康福祉総合計画が令和6年度で計画期間満了を迎えるため、「第7次健康福祉総合計画（令和7年度から令和11年度）」を策定します。
- ・生活が困窮している方への相談や支援、DV相談、子どもの貧困対策としての学習支援等、生活・福祉に関する総合的な相談・支援を行います。
- ・人権尊重社会の推進を図るため、人権相談・啓発活動、自殺対策事業に取り組みます。
- ・平和社会の推進を図るため、平和祈念事業に取り組みます。

2. 課の目標への取組結果

課の目標で示したとおり、全取組を実施しました。

令和7年度から開始となる「第7次健康福祉総合計画」を関係各課と連携し策定しました。

また、物価高騰の影響を受けた低所得者を支援するため、給付金事業などを実施しました。

3. 取組結果に対する評価（所管する事務事業の取組を踏まえた評価）

関係機関と連携により、総合的な支援体制で複合的な課題のある市民に対応することができました。

課の各事業の推進により、おおむね目標を達成することができました。

4. 今後の展開（改善や見直しが必要な点、事業など）

令和6年度に策定した第7次健康福祉総合計画に基づき、施策や事業を実施します。社会福祉協議会委託事業について、令和7年度から身寄りのない高齢者等を対象にした「あんしん生活支援事業」を追加して実施することとしました。また、自立相談支援事業について、家計改善支援事業や就労準備支援事業を追加して実施することとしました。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	地域住民の福祉活動支援	
	担当部署名	健康福祉部 社会福祉課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	2－1 地域福祉の推進	
	施策の展開内容	子どもから高齢者まですべての市民が、地域で安心して暮らせる地域共生社会を目指し、地区の特色を活かしなが ら、自助・互助・共助・公助それぞれが役割を担い、人と人のつながりや支え合いの推進体制を充実していきます。	
事務事業の目的 ・概要	障害の有無や年齢、性別に関わらず、すべての市民が地域でともに支え合う意識の啓発や自治会・まちづくり協議会などとの連携を強化し、地域で安心して 暮らせる地域共生社会を目指します。		
関連する市の計画等	介護保険事業計画・高齢者保健福祉計画、障害者プラン、健康福祉総合計画、第5次行政改革推進プラン（社会福祉協議会運営費補助金の見 直し）		
当該年度 実施事業（Plan）	根戸福祉センターの運営管理		
	社会福祉協議会支援事業		
	民生委員推薦		
	社会福祉協議会事業委託		
	成年後見制度利用の支援		
	成年後見制度利用促進基本計画（仮）策定事業		
指：指定事務事業			
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業			

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	年度		人工	
						正職員	会計年度等
令和4年度	決算額	118,346	0	令和4年度（年度末時点）		1.21	0.15
令和5年度	決算見込額	115,566	0	令和5年度（年度末時点）		1.06	0.15
令和6年度	当初予算額	119,963	0	令和6年度	4月1日時点	1.21	0.15
	補正後予算額	119,794	0		年度末時点	1.21	0.15
	決算額	118,637	0				
	次年度へ繰越	0	0				

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	民生委員・児童委員協議会活動等援助委託の執行 率	%	目標値	100	100	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	100	100			
活動 指標	市民後見人養成講座・フォローアップ講座受講者 数	人	目標値	5	15	5	10	10	10	10
			実績値	0	3	2	15			
成果 指標	根戸福祉センター施設、設備の管理 達成率	%	目標値	100	100	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	100	100			
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
順調	社会福祉協議会の活動支援や民生委員・児童委員の活動への参加などを滞りなく実施しています。また、市民後見人養成講座の開催や成年後見 制度利用促進検討会議の開催による成年後見制度の利用促進に努めましたので順調と評価しています。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	社会福祉協議会支援事業及び社会福祉協議会委託事業については第7次地域福祉活動計画策定時（令和8年策定予定）に委託事業及び人員配置 について指導予定です。また、社協独自事業についても見直しをする予定です。 市民後見人養成講座・フォローアップ講座については国・県からの要望により推進する必要があります。 今後も専門職により実践的な講座を実施できる団体に委託します。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	外出・移動支援事業		
	担当部署名	健康福祉部 社会福祉課		
基本計画における 位置づけ	基本施策名	2－1 地域福祉の推進		
	施策の展開内容	子どもから高齢者まですべての市民が、地域で安心して暮らせる地域共生社会を目指し、地区の特色を活かしなが ら、自助・互助・共助・公助それぞれが役割を担い、人と人のつながりや支え合いの推進体制を充実していきます。		
事務事業の目的 ・概要	高齢者や障害者が孤立することのないよう、外出や移動がしやすい環境を整備します。			
関連する市の計画等				
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	福祉バス運行			
	福祉有償運送運営協議会開催			
継続費設定事業				
債務負担行為設定事業				

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	年度		人工	
						正職員	会計年度等
令和4年度	決算額	15,731	0	令和4年度（年度末時点）		0.26	0.60
令和5年度	決算見込額	16,235	0	令和5年度（年度末時点）		0.18	0.60
令和6年度	当初予算額	21,963	0	令和6年度	4月1日時点	0.26	0.60
	補正後予算額	21,969	0		年度末時点	0.26	0.60
	決算額	21,123	0				
	次年度へ繰越	0	0				

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	福祉有償運送事業所登録団体数	団体	目標値	6	6	6	6	5	5	6
			実績値	6	6	5	5			
活動 指標	福祉バス利用率	%	目標値	20	30	40	50	50	50	50
			実績値	20	35	52	53			
成果 指標	福祉有償運送事業所における無事故率	%	目標値	100	100	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	100	100			
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
順調	福祉有償運送事業所登録団体数は目標値に届きませんでしたが、福祉バス利用団体では目標値を上回る利用がありました。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	福祉バスの利用団体が増えていることから、今後も高齢者や障害者の外出支援事業として継続して行っていきます。また、受益者負担割合等 を関係課と調整していきます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	孤立死防止対策事業		
	担当部署名	健康福祉部 社会福祉課		
基本計画における 位置づけ	基本施策名	2－1 地域福祉の推進		
	施策の展開内容	子どもから高齢者まですべての市民が、地域で安心して暮らせる地域共生社会を目指し、地区の特色を活かしなが ら、自助・互助・共助・公助それぞれが役割を担い、人と人のつながりや支え合いの推進体制を充実していきます。		
事務事業の目的 ・概要	自宅で誰にも気づかれずに亡くなり、死後発見される「孤立死」を防ぐため、市内外のライフライン事業者や配送事業者、福祉事業者と連携し、孤立した 状態で生活困窮に陥っている市民をいち早く発見し支援します。			
関連する市の計画等				
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	孤立死防止対策事業			
継続費設定事業				
債務負担行為設定事業				

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	人工	
				正職員	会計年度等
令和4年度	決算額	0	0	令和4年度（年度末時点）	0.20 0.00
令和5年度	決算見込額	0	0	令和5年度（年度末時点）	0.20 0.00
令和6年度	当初予算額	0	0	令和6年度 4月1日時点	0.20 0.00
	補正後予算額	0	0		
	決算額	0	0	令和6年度 年度末時点	0.20 0.00
	次年度へ繰越	0	0		

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	孤立死防止連絡協議会参加団体数	団体	目標値	75	78	80	82	84	86	88
			実績値	76	78	80	81			
成果 指標	孤立死防止対策ダイヤル受付件数	件	目標値	5	5	5	5	5	5	5
			実績値	5	0	1	3			
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
順調	各団体が行っている孤立死防止対策サービスについて、市ホームページ、SNS等を活用し広報・周知活動を進めることができました。また、 庁内関係課や関連団体と適宜連携し、連絡・情報共有・相談支援の実施ができたと評価します。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	引き続き、庁内関係課や関連団体と適宜連携し、孤立死防止について連絡・情報共有・相談支援を実施していきます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	献血・骨髄ドナー推進事業		
	担当部署名	健康福祉部 社会福祉課		
基本計画における 位置づけ	基本施策名	2－1 地域福祉の推進		
	施策の展開内容	子どもから高齢者まですべての市民が、地域で安心して暮らせる地域共生社会を目指し、地区の特色を活かしなが ら、自助・互助・共助・公助それぞれが役割を担い、人と人のつながりや支え合いの推進体制を充実していきます。		
事務事業の目的 ・概要	・血液の安定供給に寄与するため、日本赤十字社の献血事業を支援します。 ・骨髄移植の登録者と提供者を増やすための取組を支援します。			
関連する市の計画等				
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	骨髄移植ドナー支援事業			
	日本赤十字社の援護			
継続費設定事業				
債務負担行為設定事業				

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	人工	
				正職員	会計年度等
令和4年度	決算額	140	0	令和4年度（年度末時点）	0.02 0.10
令和5年度	決算見込額	280	0	令和5年度（年度末時点）	0.02 0.10
令和6年度	当初予算額	140	0	令和6年度 4月1日時点	0.02 0.10
	補正後予算額	140	0		
	決算額	140	0	令和6年度 年度末時点	0.02 0.10
	次年度へ繰越	0	0		

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	協力会員数と献血者数	人	目標値	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
			実績値	600	796	790	796			
成果 指標	骨髄等の提供件数	件	目標値	2	2	2	2	2	2	2
			実績値	2	1	2	1			
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
ほぼ順調	献血者数は目標に届きませんでしたが、令和5年度と比較すると増加し、予定通り献血を行うことができました。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	血液や骨髄移植を待つ患者のために一人でも多く登録者数を増やすことが必要であることから、引き続き事業を推進していきます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	社会福祉法人の法人運営に対する指導監査		
	担当部署名	健康福祉部 社会福祉課		
基本計画における 位置づけ	基本施策名	2－1 地域福祉の推進		
	施策の展開内容	子どもから高齢者まですべての市民が、地域で安心して暮らせる地域共生社会を目指し、地区の特色を活かしなが ら、自助・互助・共助・公助それぞれが役割を担い、人と人のつながりや支え合いの推進体制を充実していきます。		
事務事業の目的 ・概要	福祉サービスを提供する社会福祉法人に対し、運営状況や会計管理状況などについて、指導監査をよりの確に実施していきます。			
関連する市の計画等				
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	社会福祉法第56条に基づく社会福祉法人に対する指導監査実施			
継続費設定事業				
債務負担行為設定事業				

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	人工	
				正職員	会計年度等
令和4年度	決算額	2,540	0	令和4年度（年度末時点）	0.57 0.20
令和5年度	決算見込額	2,848	0	令和5年度（年度末時点）	0.52 0.40
令和6年度	当初予算額	2,969	0	令和6年度 4月1日時点	0.57 0.20
	補正後予算額	2,045	0		
	決算額	2,021	0	令和6年度 年度末時点	0.57 0.20
	次年度へ繰越	0	0		

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	指導監査を実施する社会福祉法人数	法人	目標値	10	5	5	5	5	5	5
			実績値	10	6	5	6			
成果 指標	前回の指摘事項が改善されている社会福祉法人 数/監査を実施した社会福祉法人数	%	目標値	100	100	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	100	100			
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
順調	令和6年度の指導監査実施計画のとおりに6つの社会福祉法人について指導監査を行うことができました。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	社会福祉法人に対する指導監査は、社会福祉法第56条に基づき実施していきます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	健康福祉総合計画の策定及び進行管理		
	担当部署名	健康福祉部 社会福祉課		
基本計画における 位置づけ	基本施策名	2－1 地域福祉の推進		
	施策の展開内容	子どもから高齢者まですべての市民が、地域で安心して暮らせる地域共生社会を目指し、地区の特色を活かしなが ら、自助・互助・共助・公助それぞれが役割を担い、人と人のつながりや支え合いの推進体制を充実していきま す。		
事務事業の目的 ・概要	健康福祉部門及び子ども部門における方向性を示し推進するとともに、他部門との連携を更に強めることで、社会環境の変化により複合化・複雑化している 社会課題に対して対応し、あらゆる人が受けとめられるまちづくりを推進します。			
関連する市の計画等	健康福祉総合計画			
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	健康福祉総合計画基本目標達成に向けた個別計画及び事業の推進及び進行管理			
	第7次健康福祉総合計画策定事業			
継続費設定事業				
債務負担行為設定事業				

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	人工	
				正職員	会計年度等
令和4年度	決算額	14	0	令和4年度（年度末時点）	0.20 0.10
令和5年度	決算見込額	25	0	令和5年度（年度末時点）	0.16 0.10
令和6年度	当初予算額	4,963	0	令和6年度	4月1日時点 0.20 0.10 年度末時点 0.20 0.10
	補正後予算額	3,326	0		
	決算額	3,260	0		
	次年度へ繰越	0	0		

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	事後評価における個別計画及び事業の進捗率 （順調に推進している計画及び事業数／計画及 び事業数）	%	目標値	70	75	80	85	80	80	80
			実績値	78	78	69	100			
成果 指標	市民アンケート調査における健康福祉改善率 〔（100%-不満・やや不満の割合%）／7項 目〕	%	目標値	—	—	—	—	—	—	100
			実績値	100	—	—	—			
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
ほぼ順調	個別計画及び事業の推進、進行管理を順調に遂行しました。令和5年度は高齢化や地域参加意識の低下による自治会加入者数の減や、相談件 数の減少などにより目標を下回った事業がありましたが、令和6年度は概ね順調に推移していると評価します。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	第7次健康福祉総合計画に従い、現状通り推進していきます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	生活・福祉に関する総合的な相談・支援の実施	
	担当部署名	健康福祉部 社会福祉課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	2－5 生活支援の推進	
	施策の展開内容	年齢や性別に関わらず、誰もが地域の中で安心して暮らせるよう、関係機関と連携を図りながら、相談支援体制を充実していきます。 生涯にわたって安心して生活できるよう、必要な医療・介護・年金などの社会保障制度の円滑な運営に努めるとともに、市民の健康の保持増進を図ります。	
事務事業の目的 ・概要	・生活保護制度を適正に運用し、健康で文化的な最低限度の生活を保障するとともに、日常生活の支援と経済的な自立を促進します。 ・さまざまな要因から生活に困窮している人の経済的な自立を促進するため、関係機関と連携し、相談から自立までの継続的な支援に取り組みます。 ・多様化する相談内容に対応し、適切な支援を提供できるよう、福祉関係団体をはじめ弁護士会やハローワークなどの関係機関と連携を図りながら、相談支援体制を充実していきます。		
関連する市の計画等			
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	生活保護事業		医療扶助オンライン資格確認事業
	被保護者健康管理支援事業		標準化システム移行事業
	被保護者就労支援事業		物価高騰対応生活支援給付金給付事業
	自立相談支援事業		電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援給付金給付事業（追加給付分）
	住居確保給付金事業		物価高騰対応生活支援給付金給付事業（新たな対象分）
	一時生活支援事業		低所得世帯重点支援給付金給付事業
	中国残留邦人生活支援給付費支給事務		
	被災者援護		
	生活一時資金貸付基金制度未償還金の回収事務		
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業	生活保護システム標準化移行事業 R6～R12 34,848千円 生活保護レセプト管理システム標準化移行事業 R6～R12 25,201千円		

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	人工	
				正職員	会計年度等
令和4年度	決算額	3,292,809	85,755	令和4年度（年度末時点）	18.95 6.15
令和5年度	決算見込額	3,852,926	0	令和5年度（年度末時点）	20.64 6.35
令和6年度	当初予算額	2,544,867	268,549	令和6年度	4月1日時点 20.95 6.35
	補正後予算額	3,230,854	268,548		
	決算額	2,927,384	251,101		
	次年度へ繰越	232,791	0	年度末時点	20.95 6.35

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	生活困窮者等に対する相談対応件数	件	目標値	2,200	3,500	3,800	4,000	4,075	4,150	4,200
			実績値	2,543	2,101	1,857	1,615			
成果 指標	福祉相談窓口受付件数	件	目標値	1,050	1,200	1,400	1,600	1,625	1,650	1,700
			実績値	777	762	783	776			
成果 指標	就職につながった件数	件	目標値	48	50	52	54	54	55	56
			実績値	33	52	59	48			
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
順調	生活困窮者自立支援制度の相談窓口として、経済的な課題だけでなく、複雑化、複合化した相談内容にも対応できる包括的な相談窓口を運営できたため、順調と評価しています。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	誰もが自立した生活を送れるよう、生活困窮者自立支援法に基づく支援や生活保護制度などのサポートは今後も不可欠です。そのため、引き続きこれらの支援を推進していきます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	子どもの貧困対策事業		
	担当部署名	健康福祉部 社会福祉課		
基本計画における 位置づけ	基本施策名	3－1 妊娠・出産・子育てへの切れ目ない支援		
	施策の展開内容	安心して妊娠・出産・子育てができるよう、ライフステージに応じた切れ目ない支援に取り組みます。 多様化する就労形態や市民ニーズに対応した保育・幼児教育の提供を行うとともに、ひとり親家庭への支援など、子育てしやすい環境づくりを進めます。 子ども医療費の助成をはじめ、経済的な支援を充実します。		
事務事業の目的 ・概要	経済的な理由による格差の解消や子どもと地域の交流を図るため、学習支援や子ども食堂の活動を推進します。			
関連する市の計画等				
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	子どもに対する学習・生活支援事業			
	けやきプラザ11階の施設運営			
継続費設定事業				
債務負担行為設定事業				

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	人工	
				正職員	会計年度等
令和4年度	決算額	4,447	0	令和4年度（年度末時点）	0.70 0.80
令和5年度	決算見込額	3,393	0	令和5年度（年度末時点）	0.70 0.00
令和6年度	当初予算額	4,376	0	令和6年度 4月1日時点	0.70 0.00
	補正後予算額	4,376	0		
	決算額	3,955	0	令和6年度 年度末時点	0.70 0.00
	次年度へ繰越	0	0		

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	我孫子市学習支援ネットワークへの参加団体数	団体	目標値	25	30	30	30	30	30	31
			実績値	19	19	20	20			
成果 指標	我孫子市学習支援教室利用登録者数	人	目標値	90	92	94	96	96	97	98
			実績値	92	91	85	89			
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
順調	学習支援事業の学習支援教室は、市民団体やNPO法人等により各地域で活発に行われていることから順調と評価しています。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	引き続き、協力登録団体の活動を支援するとともに、利用する子どもが増えるよう広報活動に力を入れ、貧困の連鎖の予防を図っていきます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	DV相談		
	担当部署名	健康福祉部 社会福祉課		
基本計画における 位置づけ	基本施策名	8－1 男女共同参画の推進		
	施策の展開内容	性別にとらわれず、あらゆる場面で一人ひとりの個性や能力を十分発揮し、活躍できる環境づくりに取り組みます。 また、男女平等に関する国際的な評価や潮流、国の新たな法律の整備を踏まえ、男女共同参画社会の実現に向けて取り組みます。		
事務事業の目的 ・概要	DV被害者が安心して自立した生活を送れるよう、相談及び支援体制を充実させます。			
関連する市の計画等				
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	指	DV相談		
継続費設定事業				
債務負担行為設定事業				

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	人工	
				正職員	会計年度等
令和4年度	決算額	0	0		
令和5年度	決算見込額	0	0		
令和6年度	当初予算額	0	0		
	補正後予算額	0	0		
	決算額	0	0		
	次年度へ繰越	0	0		

年度		人工	
		正職員	会計年度等
令和4年度（年度末時点）		0.60	1.47
令和5年度（年度末時点）		0.60	0.00
令和6年度	4月1日時点	0.60	1.60
	年度末時点	0.60	1.60

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	DVに関する相談対応件数	件	目標値	600	380	390	395	400	405	410
			実績値	370	305	317	251			
成果 指標	DVに関する相談対応率	%	目標値	100	100	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	100	100			
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
順調	各関係機関と連携を図り、DV被害者の様々な相談に対応し、支援することができたため、順調と評価しています。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	DV相談の増加により、DV被害者への総合的な支援が今後も必要なことから、引き続き実施します。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	人権相談・啓発活動		
	担当部署名	健康福祉部 社会福祉課		
基本計画における 位置づけ	基本施策名	8－2 人権尊重社会の推進		
	施策の展開内容	すべての人が人権について理解を深め、お互いの違いを認め合い、それぞれの人権を尊重しながら、その個性と能力を十分に発揮し、その人らしくいきいきと暮らすことができる地域づくりを進めます。		
事務事業の目的 ・概要	・すべての人がお互いの違いを認め合い、それぞれの人権を尊重しながら、その個性や能力を十分に発揮できるよう、人権についての理解を深めるための啓発活動を推進します。 ・差別や虐待、ハラスメントなど、さまざまな人権問題についての相談を受け付けるため、関係機関と連携し、人権擁護委員による人権相談を実施していきます。 ・非行の防止と罪を犯した人たちの更生について、地域全体で理解を深め、犯罪や非行のない明るい社会を築くため、啓発運動に取り組みます。			
関連する市の計画等				
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	人権相談			
	人権に対する啓発活動			
	社会を明るくする運動			
継続費設定事業				
債務負担行為設定事業				

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	人工	
				正職員	会計年度等
令和4年度	決算額	1,446	0	令和4年度（年度末時点）	0.46 0.10
令和5年度	決算見込額	907	0	令和5年度（年度末時点）	0.42 0.50
令和6年度	当初予算額	934	0	令和6年度 4月1日時点	0.46 0.10
	補正後予算額	854	0		
	決算額	839	0	令和6年度 年度末時点	0.46 0.10
	次年度へ繰越	0	0		

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	相談に対して確実に対応した対応率	%	目標値	100	100	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	100	100			
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
順調	全ての相談に対し適切に対応することができたため順調と評価しています。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	様々な人権問題が数多く存在しているため、事業の継続が必要であると捉えています。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	自殺対策事業	
	担当部署名	健康福祉部 社会福祉課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	8－2 人権尊重社会の推進	
	施策の展開内容	すべての人が人権について理解を深め、お互いの違いを認め合い、それぞれの人権を尊重しながら、その個性と能力を十分に発揮し、その人らしくいきいきと暮らすことができる地域づくりを進めます。	
事務事業の目的 ・概要	自殺を未然に防ぐための周知啓発を図るとともに、自分の周りにいる自殺を考えている人の存在に気づき、声をかけ、必要に応じて適切な相談機関などにつないでいけるよう、地域の支援者としてゲートキーパーを養成していきます。		
関連する市の計画等	我孫子市いのちを支え合う自殺対策計画		
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	我孫子市自殺対策庁内連絡会議		
	我孫子市自殺対策協議会		
	自殺対策啓発物配布		
	自殺対策計画策定事業		
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業			

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	人工	
				正職員	会計年度等
令和4年度	決算額	318	0	令和4年度（年度末時点）	0.51 0.10
令和5年度	決算見込額	2,340	0	令和5年度（年度末時点）	0.51 0.30
令和6年度	当初予算額	398	0	令和6年度 4月1日時点	0.51 0.10
	補正後予算額	362	0		
	決算額	296	0	令和6年度 年度末時点	0.51 0.10
	次年度へ繰越	0	0		

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
成果 指標	研修会等に参加して、自殺予防（対策）に関する知識を高めた人の割合	%	目標値	95	95	100	100	100	100	100
			実績値	100	98	98	100			
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
順調	庁内職員や人権擁護委員、教頭会などを対象に研修を行い、自殺予防に関する知識を高めることができました。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	自殺者数を減らすため、現状通り事業を継続します。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	平和祈念事業	
	担当部署名	健康福祉部 社会福祉課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	8－3 平和社会の推進	
	施策の展開内容	「我孫子市平和都市宣言」の趣旨を踏まえ、世界の恒久平和と核兵器の廃絶を願い、戦争の悲惨さと平和の尊さを後世に伝えるため、市民とともに平和事業に取り組みます。	
事務事業の目的 ・概要	・原爆被爆国として記憶を風化させることなく後世に伝えるため、平和祈念式典を開催します。 ・戦没者に対し追悼の意をささげるとともに、二度と戦争を繰り返すことのないよう、恒久平和を市民と祈念するため、遺族会と協力し戦没者追悼式を継続して実施していきます。		
関連する市の計画等			
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	原子爆弾被爆者見舞金支給		
	戦没者追悼式		
	原爆被爆平和祈念式典の開催と平和の記念碑の管理		
	戦没者遺族への特別弔慰金取り扱い		
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業			

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	人工	
				正職員	会計年度等
令和4年度	決算額	1,154	0	令和4年度（年度末時点）	0.30 0.10
令和5年度	決算見込額	1,092	0	令和5年度（年度末時点）	0.35 0.10
令和6年度	当初予算額	1,118	0	令和6年度 4月1日時点	0.30 0.10
	補正後予算額	1,086	0		
	決算額	985	0	令和6年度 年度末時点	0.30 0.10
	次年度へ繰越	0	0		

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	原子爆弾被爆者見舞金申請者への支給率	%	目標値	100	100	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	100	100			
活動 指標	特別弔慰金請求取り扱い率	%	目標値	100	100	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	100	100			
成果 指標	祈念式典参加人数	人	目標値	100	120	130	150	150	150	150
			実績値	100	70	84	92			
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
順調	式典は、当日の天気を考慮し、臨機応変に対応することができました。見舞金は対象者全員に支給することができました。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	平和の大切さと戦争の悲惨さを次世代に伝えていくために事業を継続して行っていく必要があります。

令和6年度
課の目標管理書

課 名：健康福祉部 健康づくり支援課

1. 課の目標（部の運営方針に基づいた取組方針）

- ・小児科診療所開設促進事業の導入等により地域医療体制の推進を図るとともに、引き続き、感染症対策に取り組みます。
- ・健康・医療施策は、現在の「第2次心も身体も健康プラン」の計画期間が令和6年度で終了するため、次期計画を策定します。
- ・各種健（検）診時や健康啓発事業などの開催、生活習慣を改善するための情報提供を通じて、市民の自主的な健康づくりを支援します。
- ・特定健康診査やがん検診、脳ドックなどの生活習慣病予防対策に取り組むとともに、その重要性をPRし、受診率の向上を図ります。
- ・生活習慣病のリスクがある人への保健指導等に取り組みます。
- ・市民や事業者、関係機関と連携して地域ぐるみで啓発イベントを開催するなど健康づくりの推進を図ります。
- ・子どもの健やかな成長のため、妊産婦や親子への健康診査や相談などを通して、育児不安の軽減、親子の疾病の早期発見と早期治療・療育など、健康の保持増進につなげる取組を進めます。
- ・子どもが感染症にかかることやかかった際の重症化を防ぐため、予防接種についての十分な情報提供を行い、予防接種法に基づく定期接種の接種率を向上させる取組を進めます。

2. 課の目標への取組結果

- ・休日診療所を適切に開所・運営し、小児救急医療を含めた救急医療サービスの体制維持を図るとともに、感染症対策に取り組みました。
- ・市内西側に小児科を専門に診療する診療所を開設するものに対し、補助金を創設し、開業促進につながるよう取り組みました。
- ・健康づくり・食育・歯と口腔の健康づくりを一体的に推進するため「第3次心も身体も健康プラン」を策定しました。
- ・広報や保健センターのご案内、保健センターだより、メールやLINE・フェイスブック等の活用に加え、市内高等学校でがんについての講義を行うなど健（検）診の周知啓発を行い、受診率向上に努めました。
- ・特定集団健診における初回面接の分割実施や、特定保健指導利用予約の電話の直接受付等を行う他、今年度より保健センターに加え市民プラザでも初回面接を行うなど保健指導の利用拡大を進めました。
- ・事業者や医療関係者・市民団体等と協力しながら、市民の健康意識向上につながるイベントを開催するほか、我孫子駅南口への階段利用促進啓発パネルの掲示、メールやLINE・フェイスブック等の活用により、生活習慣改善・健康維持増進のための情報提供を行いました。
- ・令和6年6月に妊娠育児相談窓口を開設し、妊娠届の提出手続き、母子健康手帳の交付や妊娠期の過ごし方など必要な情報の提供及び子育てに関する相談を行い、妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援を行いました。
- ・HPVワクチン接種キャッチアップ対象者へキャッチアップ事業の終了の周知と接種勧奨、夏休み前等の接種勧奨（就学前・小中学生）、子どもの予防接種の未接種勧通知等を実施しました。また、ワクチンの供給不足等が生じたことにより、HPVワクチン接種フォローアップ等やMRについて延長措置となったため、対象者への個別通知等により周知を行いました。

3. 取組結果に対する評価（所管する事務事業の取組を踏まえた評価）

当初の予定どおり計画していた事業について遂行することができ、課の目標の達成に取り組んだと評価します。

4. 今後の展開（改善や見直しが必要な点、事業など）

地域医療体制については、市内小児科医の不足が深刻であることから、継続して安定した医療体制を整備していく必要があります。今後も、健康寿命の延伸を目指し、引き続き事業を確実に推進していきます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	保健センターの維持管理	
	担当部署名	健康福祉部 健康づくり支援課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	2－2 健康づくりの推進	
	施策の展開内容	健康寿命の延伸を目指し、ライフステージに応じて、市民一人ひとりが主体的な健康づくりに取り組みやすい環境づくりを進めます。 また、関係機関と連携しながら、地域医療体制の充実を図るとともに、感染症対策に取り組みます。	
事務事業の目的 ・概要	健康づくりに関する事業を実施するため、保健センターの適切な管理運営を行います。		
関連する市の計画等	我孫子市保健センター・休日診療所長寿命化計画（個別施設計画）		
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	保健センターの事務管理		
	保健センターの維持管理		
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業			

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	年度		人工	
						正職員	会計年度等
令和4年度	決算額	22,481	0	令和4年度（年度末時点）		1.60	1.68
令和5年度	決算見込額	20,952	0	令和5年度（年度末時点）		1.67	1.65
令和6年度	当初予算額	37,552	0	令和6年度	4月1日時点	1.52	1.65
	補正後予算額	37,584	0				
	決算額	36,741	0		年度末時点	1.52	1.65
	次年度へ繰越	0	0				

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	保健センター保守管理の執行率	%	目標値	100	100	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	100	100			
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
順調	当初の予定通り計画していた事業について遂行することができたため、順調と評価しています。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	施設の老朽化に伴い故障等が発生した際は、適正な修繕等を行い、施設の維持管理に努めます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	第2次心も身体も健康プランの推進		
	担当部署名	健康福祉部 健康づくり支援課		
基本計画における 位置づけ	基本施策名	2－2 健康づくりの推進		
	施策の展開内容	健康寿命の延伸を目指し、ライフステージに応じて、市民一人ひとりが主体的な健康づくりに取り組みやすい環境づくりを進めます。 また、関係機関と連携しながら、地域医療体制の充実を図るとともに、感染症対策に取り組みます。		
事務事業の目的 ・概要	「心も身体も健康プラン」の進捗報告等を通して、目標値の達成状況を検証し、今後新たな取り組みが必要な分野や事業の検討を実施します。			
関連する市の計画等	第2次心も身体も健康プラン			
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	心も身体も健康プランの推進事業			
	心も身体も健康プランの策定			
継続費設定事業				
債務負担行為設定事業				

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	人工	
				正職員	会計年度等
令和4年度	決算額	943	0	令和4年度（年度末時点）	0.83 0.00
令和5年度	決算見込額	4,373	0	令和5年度（年度末時点）	1.02 0.00
令和6年度	当初予算額	5,450	0	令和6年度 4月1日時点	1.74 0.00
	補正後予算額	3,734	0		
	決算額	3,706	0		
	次年度へ繰越	0	0	年度末時点	0 0

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	健康づくり推進協議会の開催回数	回	目標値	1	1	2	3	1	1	1
			実績値	1	1	2	1			
成果 指標	計画に位置づけられた事業の目標達成・改善率	%	目標値	37	39	40	40	50	50	50
			実績値	46	50	46	50			
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
ほぼ順調	ほぼ予定どおりに各事業を遂行し、計画に位置づけられた事業の目標達成・改善率が目標値を達成しています。健康づくり推進協議会の開催回数は予定より減りましたが、必要な協議を進めることができました。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	今後も継続して、心も身体も健康プランの目標達成に向けて推進していきます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	市民の自主的な健康づくりの推進	
	担当部署名	健康福祉部 健康づくり支援課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	2-2 健康づくりの推進	
	施策の展開内容	健康寿命の延伸を目指し、ライフステージに応じて、市民一人ひとりが主体的な健康づくりに取り組みやすい環境づくりを進めます。 また、関係機関と連携しながら、地域医療体制の充実を図るとともに、感染症対策に取り組みます。	
事務事業の目的 ・概要	市民の健康寿命の延伸を目指して、生活習慣の改善や生活習慣病の発生を予防する一次予防に重点を置き、健康や食育、歯と口腔の健康づくりに関するさまざまな取組を総合的かつ計画的に進めます。 ・各種健（検）診時や健康啓発事業などの開催、生活習慣を改善するための情報提供を通じて、市民の自主的な健康づくりを支援していきます。 ・特定健康診査やがん検診、脳ドックなどの生活習慣病予防対策に取り組むとともに、その重要性をPRし、受診率の向上を図ります。 ・生活習慣病のリスクがある人に保健指導や受診勧奨を行うなど、重症化予防対策に取り組みます。 ・市民や事業者、関係機関と連携して地域ぐるみで啓発イベントを開催するなど健康づくりの推進を図ります。		
関連する市の計画等	第2次心も身体も健康プラン		
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	市民の自主的な健康づくりの推進事業		
	特定健診・特定保健指導等事業		
	指 がん患者アピアランスケア支援事業		
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業			

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)
令和4年度	決算額	349,480	0
令和5年度	決算見込額	359,761	0
令和6年度	当初予算額	385,672	0
	補正後予算額	380,519	0
	決算額	362,515	0
	次年度へ繰越	0	0

年度		人工	
		正職員	会計年度等
令和4年度（年度末時点）		9.00	3.85
令和5年度（年度末時点）		9.57	3.47
令和6年度	4月1日時点	8.63	3.75
	年度末時点	8.00	3.62

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	胃がん検診受診者数	人	目標値	2,175	2,687	3,192	3,691	4,182	4,671	5,155
			実績値	984	1,062	1,054	932			
活動 指標	大腸がん検診受診者数	人	目標値	4,296	4,794	5,286	5,770	6,247	6,725	7,196
			実績値	3,187	3,142	2,977	3,035			
活動 指標	肺がん検診受診者数	人	目標値	3,076	3,583	4,082	4,574	5,060	5,544	6,023
			実績値	1,121	1,417	1,215	1,192			
活動 指標	乳がん検診受診者数	人	目標値	10,183	10,643	11,095	11,540	11,978	12,423	12,862
			実績値	4,044	4,325	4,049	4,088			
活動 指標	子宮頸がん検診受診者数	人	目標値	6,042	6,366	6,683	6,994	7,298	7,630	7,960
			実績値	4,538	4,742	4,624	4,677			
成果 指標	胃がん検診受診率	%	目標値	4.1	5.1	6.1	7.1	8.1	9.1	10.1
			実績値	1.9	2.0	2.0	1.8			
成果 指標	大腸がん検診受診率	%	目標値	8.1	9.1	10.1	11.1	12.1	13.1	14.1
			実績値	6.0	5.9	5.6	5.7			
成果 指標	肺がん検診受診率	%	目標値	5.8	6.8	7.8	8.8	9.8	10.8	11.8
			実績値	2.1	2.7	2.3	2.2			
成果 指標	乳がん検診受診率	%	目標値	19.2	20.2	21.2	22.2	23.2	24.2	25.2
			実績値	15.4	16.6	15.6	15.8			
成果 指標	子宮頸がん検診受診率	%	目標値	15.9	16.9	17.9	18.9	19.9	20.9	21.9
			実績値	11.9	12.4	12.0	12.1			

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
（ほぼ順調	年間として健（検）診事業を予定どおり実施し、対前年受診率を概ね維持できたことから、ほぼ順調と評価します。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	令和6年度の実績を継続するとともに、受診率向上のために、啓発活動を進めていきます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	地域医療体制の充実	
	担当部署名	健康福祉部 健康づくり支援課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	2－2 健康づくりの推進	
	施策の展開内容	健康寿命の延伸を目指し、ライフステージに応じて、市民一人ひとりが主体的な健康づくりに取り組みやすい環境づくりを進めます。 また、関係機関と連携しながら、地域医療体制の充実を図るとともに、感染症対策に取り組みます。	
事務事業の目的 ・概要	・休日でも初期的な医療を受けられるよう、関係機関と連携して休日診療所を運営します。 ・小児救急医療を含めた救急医療サービスをいつでも受けられるよう、かかりつけ医などの身近な医療から高度な最先端技術を提供する医療、広域的な医療連携を含めて医療体制を維持していきます。 ・かかりつけ医を持つことの有効性についての周知、症状の軽い人は休日や夜間診療を利用しないなど、救急医療利用の適正化に向けた啓発活動を行います。		
関連する市の計画等	我孫子市保健センター・休日診療所長寿命化計画（個別施設計画）		
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	指	我孫子市休日診療所運営	
		救急医療整備事業	
	指	小児科診療所開設促進事業	
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業			

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	年度		人工	
						正職員	会計年度等
令和4年度	決算額	238,938	0	令和4年度（年度末時点）		1.32	0.00
令和5年度	決算見込額	119,624	0	令和5年度（年度末時点）		1.91	0.00
令和6年度	当初予算額	136,158	0	令和6年度	4月1日時点	2.05	0.00
	補正後予算額	142,750	0		年度末時点	2.05	0.00
	決算額	127,227	0				
	次年度へ繰越	0	0				

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	災害医療対策会議の開催回数	回	目標値	1	1	1	1	1	1	1
			実績値	1	1	1	1			
成果 指標	休日診療所が適切に開所された率	%	目標値	100	100	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	100	100			
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
順調	当初の予定通り計画していた事業について遂行することができたため、順調と評価しています。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	今後も継続して安定した医療体制を整備していきます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	感染症対策事業		
	担当部署名	健康福祉部 健康づくり支援課		
基本計画における 位置づけ	基本施策名	2－2 健康づくりの推進		
	施策の展開内容	健康寿命の延伸を目指し、ライフステージに応じて、市民一人ひとりが主体的な健康づくりに取り組みやすい環境づくりを進めます。 また、関係機関と連携しながら、地域医療体制の充実を図るとともに、感染症対策に取り組みます。		
事務事業の目的 ・概要	・感染症にかかることやかかった際の重症化を防ぐため、予防対策への啓発を行うとともに、予防接種や結核・肺がん検診などについての情報提供を行い、接種率、受診率の向上を図ります。 ・新たな感染症が発生した際には、予防接種の有効性が期待されることから、予防接種体制の構築に努めます。			
関連する市の計画等				
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	住民結核健康診査事業			
	感染症対策事業			
継続費設定事業				
債務負担行為設定事業				

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	人工	
				正職員	会計年度等
令和4年度	決算額	1,118,467	0	令和4年度（年度末時点）	6.00 6.24
令和5年度	決算見込額	436,704	0	令和5年度（年度末時点）	4.70 5.26
令和6年度	当初予算額	114,929	32,030	令和6年度	4月1日時点 2.52 1.92
	補正後予算額	229,652	32,030		
	決算額	189,656	4,938		
	次年度へ繰越	0	0	年度末時点	2.47 1.99

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	結核・肺がん検診受診者数	人	目標値	4,936	5,363	5,792	6,224	6,658	7,098	7,541
			実績値	2,731	4,296	4,173	4,217			
成果 指標	結核・肺がん検診受診率	%	目標値	12	13	14	15	16	17	18
			実績値	6.5	10.2	10	10.1			
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
ほぼ順調	年間として健（検）診事業を予定どおり実施し、対前年受診率を概ね維持できたことから、ほぼ順調と評価します。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	令和6年度の実績を継続するとともに、受診率向上のために、啓発活動を進めていきます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	親と子の健康づくりの推進		
	担当部署名	健康福祉部 健康づくり支援課		
基本計画における 位置づけ	基本施策名	3－1 妊娠・出産・子育てへの切れ目ない支援		
	施策の展開内容	安心して妊娠・出産・子育てができるよう、ライフステージに応じた切れ目ない支援に取り組みます。 多様化する就労形態や市民ニーズに対応した保育・幼児教育の提供を行うとともに、ひとり親家庭への支援など、子育てしやすい環境づくりを進めます。 子ども医療費の助成をはじめ、経済的な支援を充実します。		
事務事業の目的 ・概要	子どもの健やかな成長のため、妊産婦や親子への健康診査や相談などを通して、育児不安の軽減、親子の疾病の早期発見と早期治療・療育など、健康の保持増進につなげる取組を進めます。			
関連する市の計画等	第2次心も身体も健康プラン、子ども総合計画			
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業		親と子の健康づくり推進事業		
	指	産後ケア事業の拡充		
		低所得の妊婦に対する妊娠判定料支援事業		
		妊娠届出書提出時面接業務		
		出産・すくすく子育て応援金の給付		
	指	我孫子駅前妊娠・育児相談窓口の開設		
	指	1か月児健康診査助成		
		多胎妊婦の妊婦健康診査費用助成		
継続費設定事業				
債務負担行為設定事業				

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	人工	
				正職員	会計年度等
令和4年度	決算額	174,521	0		
令和5年度	決算見込額	174,292	19,200		
令和6年度	当初予算額	197,123	0		
	補正後予算額	201,822	0		
	決算額	197,469	0		
	次年度へ繰越	0	0		

年度		人工	
		正職員	会計年度等
令和4年度（年度末時点）		8.85	4.21
令和5年度（年度末時点）		8.71	5.22
令和6年度	4月1日時点	9.75	8.36
	年度末時点	9.54	6.93

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	新生児訪問実施家庭数	件	目標値	759	744	727	666	650	641	633
			実績値	681	620	669	633			
成果 指標	訪問希望者への訪問率	%	目標値	100	100	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	100	100			
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
ほぼ順調	親と子の健康づくりの推進事業について、各個別推進事業において問題なく実施していますが、市民のニーズやライフステージに合わせた切れ目のない支援体制をより充実・拡充していく必要のあるため、ほぼ順調と評価しています。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	全ての個別事務事業の実施について問題ないため、引き続き推進します。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	小児等予防接種事業	
	担当部署名	健康福祉部 健康づくり支援課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	3－1 妊娠・出産・子育てへの切れ目ない支援	
	施策の展開内容	安心して妊娠・出産・子育てができるよう、ライフステージに応じた切れ目ない支援に取り組みます。 多様化する就労形態や市民ニーズに対応した保育・幼児教育の提供を行うとともに、ひとり親家庭への支援など、子育てしやすい環境づくりを進めます。 子ども医療費の助成をはじめ、経済的な支援を充実します。	
事務事業の目的 ・概要	子どもが感染症にかかることやかかった際の重症化を防ぐため、予防接種についての十分な情報提供を行い、予防接種法に基づく定期接種の接種率を向上させる取組を進めます。		
関連する市の計画等	第2次心も身体も健康プラン、子ども総合計画		
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	小児等予防接種事業		
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業			

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	年度		人工	
						正職員	会計年度等
令和4年度	決算額	247,746	0	令和4年度（年度末時点）		1.60	0.83
令和5年度	決算見込額	240,395	0	令和5年度（年度末時点）		1.60	1.02
令和6年度	当初予算額	283,103	0	令和6年度	4月1日時点	1.98	2.20
	補正後予算額	325,901	0				
	決算額	320,232	0				
	次年度へ繰越	0	0		年度末時点	1.98	2.25

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	BCG接種件数	件	目標値	759	744	727	666	650	641	633
			実績値	740	682	647	652			
成果 指標	BCG接種率	%	目標値	100	100	100	100	100	100	100
			実績値	99.5	98.7	99.7	102.8			
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
順調	接種勧奨等を実施し、成果指標は目標の100%を達成となり、順調に活動の成果が表れました。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	感染症から子どもの健康を守るため、乳幼児・小中学生が国が定める定期の予防接種を受けることは、感染症の発病、重症化予防及び集団感染の予防の視点から必要な事業であることから、今後も推進をしていきます。

令和6年度 課の目標管理書

課 名：健康福祉部 障害者支援課

1. 課の目標（部の運営方針に基づいた取組方針）

・障害者のための施策に関する基本的な事項を定めた「第4期我孫子市障害者プラン」を推進するため、プランに定めた施策や事業を適切に管理していきます。

・身近な地域できめ細かい相談支援を実施するため、市内5か所の障害者まちかど相談室と連携を図り相談支援を充実させていきます。

・障害のある方の重度化・高齢化や「親亡き後」を見据え、地域生活支援拠点等事業を推進し、障害のある方を地域全体で支えるサービス提供体制の構築に努めます。

・居宅介護、共同生活援助、短期入所等の事業所について、専門的、技術的支援を行うとともに、安定的な運営が継続できるよう支援していきます。

・障害のある方の成年後見制度の利用促進に向けた取り組みを行い、権利擁護事業の推進を図ります。

2. 課の目標への取組結果

障害福祉事業所が、適切なサービスを提供することで、障害のある方が、住み慣れた地域で安心して生活を送ることができるように、障害福祉事業者向けの集団指導及び実地指導を行いました。また、新たに施設利用や地域移行の基盤を強化するために「くらし部会」を立ち上げました。

3. 取組結果に対する評価（所管する事務事業の取組を踏まえた評価）

『「自分らしく」を応援するまちあびこ』の基本理念を実現し、障害福祉サービスのさらなる充実を図るため、第4期我孫子市障害者プランに基づき事業を推進しました。あらき園については、令和6年度に我孫子市障害者福祉施設等個別施設計画に基づく大規模工事を実施し施設の長寿命化を図りました。また、チャレンジオフィスの運営を通じて一般就労に向けた訓練を行うため、4名の障害者を雇用しました。

4. 今後の展開（改善や見直しが必要な点、事業など）

障害者の重度化・高齢化や「親亡き後」を見据えた、居住支援のための相談機能を充実させるため、地域生活支援拠点の整備を進めます。あらき園では、こども発達センターの給食をあらき園厨房で調理するために、あらき園厨房改修及びこども発達センター渡り廊下設置工事を実施します。また、チャレンジオフィスの4名の対象者を引き続き雇用することで障害者雇用の促進を図ります。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	障害者プランの策定・推進		
	担当部署名	健康福祉部 障害者支援課		
基本計画における 位置づけ	基本施策名	2－4 障害者福祉の推進		
	施策の展開内容	障害のあるすべての人の個性が尊重され、地域の中で自分らしく安心して暮らせるよう、介護、訓練、医療給付、相談支援など、総合的な支援体制を充実していきます。		
事務事業の目的 ・概要	障害のある人やその家族などからの相談に対し、専門的・総合的に対応するとともに、障害・子ども・高齢・医療などの関係機関と連携し、支援していきます。			
関連する市の計画等	我孫子市第6次健康福祉総合計画、第4期我孫子市障害者プラン			
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	自立支援協議会の運営			
継続費設定事業				
債務負担行為設定事業				

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	人工	
				正職員	会計年度等
令和4年度	決算額	0	0	令和4年度（年度末時点）	0.40 0.00
令和5年度	決算見込額	401	0	令和5年度（年度末時点）	0.70 0.00
令和6年度	当初予算額	0	0	令和6年度	4月1日時点 0.15 0.00
	補正後予算額	0	0		
	決算額	0	0		
	次年度へ繰越	0	0	令和6年度	年度末時点 0.15 0.00

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	障害者プランに位置付けている障害者サービス等の見込量の達成率	%	目標値	100	100	100	100	100	100	100
			実績値	101	106	111	102			
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
ほぼ順調	障害福祉サービスを提供する事業所の増加や民間事業所の参入により、サービスの質の確保、人材確保が課題となっており、継続して事業所の体制整備に取り組むことが求められます。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	障害者を取り巻く状況や法整備の動向を的確に踏まえ、関係者の意見を反映しながら総合的な支援体制を充実していきます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	障害福祉サービスに関する相談・支援の実施	
	担当部署名	健康福祉部 障害者支援課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	2－4 障害者福祉の推進	
	施策の展開内容	障害のあるすべての人の個性が尊重され、地域の中で自分らしく安心して暮らせるよう、介護、訓練、医療給付、相談支援など、総合的な支援体制を充実していきます。	
事務事業の目的 ・概要	障害のある人やその家族などからの相談に対し、専門的・総合的に対応するとともに、障害・子ども・高齢・医療などの関係機関と連携し、支援していきます。		
関連する市の計画等	我孫子市第6次健康福祉総合計画、第4期我孫子市障害者プラン		
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	日中一時支援事業		
	障害者移動支援事業		
	日常生活用具給付事業		
	障害者地域相談支援事業		
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業			

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	年度		人工	
						正職員	会計年度等
令和4年度	決算額	240,381	0	令和4年度（年度末時点）		9.15	6.15
令和5年度	決算見込額	224,089	0	令和5年度（年度末時点）		8.95	6.25
令和6年度	当初予算額	271,996	0	令和6年度	4月1日時点	9.25	5.85
	補正後予算額	271,174	0		年度末時点	9.25	5.85
	決算額	259,141	0				
	次年度へ繰越	0	0				

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	障害者手帳と自立支援医療（精神通院）受付件数	件	目標値		8,400	8,500	8,600	8,700	8,800	8,900
			実績値	8,406	8,644	8,969	8,408			
活動 指標	日常生活用具給付決定件数	件	目標値		3,200	3,250	3,300	3,350	3,400	3,450
			実績値	3,154	3,080	3,277	3,219			
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
ほぼ順調	必要に応じた支援が適切にできていると評価できます。今後もニーズは増加していくと見込まれるため、引き続き継続する必要があります。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	障害者手帳所持者数や日常生活用具利用者数は個々の事情に基づき変動しますが、全体として増加傾向にあります。対象者の増減に関わらず、障害により支援が必要な状態となった方に対し、速やかに相談や支援を提供できるよう、事業を継続していきます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	障害者への経済的支援	
	担当部署名	健康福祉部 障害者支援課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	2－4 障害者福祉の推進	
	施策の展開内容	障害のあるすべての人の個性が尊重され、地域の中で自分らしく安心して暮らせるよう、介護、訓練、医療給付、相談支援など、総合的な支援体制を充実していきます。	
事務事業の目的 ・概要	障害のある人やその家族などが安心して暮らせるよう、経済的な負担を軽減する支援を行います。		
関連する市の計画等	我孫子市第6次健康福祉総合計画、第4期我孫子市障害者プラン		
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	重度障害者（児）医療費給付事業		
	特別障害者手当		
	障害児福祉手当		
	我孫子市福祉手当		
	補装具給付事業		
	更生医療給付事業		
	障害者自立支援給付事業		
	障害者福祉システムの更新		
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業	障害者福祉システムの更新（R5～R11年度 120,480千円）		

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	人工	
				正職員	会計年度等
令和4年度	決算額	2,777,871	0	令和4年度（年度末時点）	4.75 3.15
令和5年度	決算見込額	2,988,755	0	令和5年度（年度末時点）	5.10 3.15
令和6年度	当初予算額	3,354,934	0	令和6年度	4月1日時点 5.00 3.15
	補正後予算額	3,344,896	0		
	決算額	3,307,834	0		
	次年度へ繰越	0	0	年度末時点	5.00 3.15

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	障害福祉サービス延利用人数	人	目標値		16,500	17,000	17,500	18,000	18,500	19,000
			実績値	15,675	17,168	18,271	19,909			
活動 指標	補装具給付決定件数	件	目標値		310	320	330	340	350	360
			実績値	290	295	315	292			
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
ほぼ順調	障害のある方やその家族が、地域で安心して暮らし、自立を目指すような環境を整えることが出来たことから、おおむね指標どおり事業を遂行することが出来ました。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	多くの障害者は各種手当や年金、少額の福祉的就労工賃で得た収入で生活していることから、経済的な負担を軽減する事業は重要です。また、地域で自立した生活を営むためには、充実した福祉サービスを提供する必要があることから、事業を推進していきます。

令和6年度 課の目標管理書

課 名 : 健康福祉部 あらき園

1. 課の目標（部の運営方針に基づいた取組方針）

あらき園では、障害者の日中活動の場として日常生活において常時介護が必要な方に対し食事や排せつの支援、機能訓練、体力づくり、創作的活動、季節に合わせた行事、各種の余暇活動などの支援を行う生活介護事業を継続して実施していきます。

市で推進する地域生活支援拠点等事業においては、市内のどの福祉サービス事業所でも質の高いサービスが提供できるようにあらき園から専門職員を派遣し、技術的支援を行うことで「専門的人材の確保・育成」を行い、基幹施設としての役割を担います。

我孫子市の障害者支援の基幹施設・重度障害者のセーフティネット・災害時の指定福祉避難所として事業に取り組んでいきます。

2. 課の目標への取組結果

課の目標で示したとおり、全取組を実施しました。また、個別施設計画に基づき、長寿命化を目的とした施設改修工事を行いました。社会福祉事業基金を活用した「ホースセラピー体験会」を実施し、利用者の心の支援を行うことができました。

3. 取組結果に対する評価（所管する事務事業の取組を踏まえた評価）

障害者の日中活動の場として、日常生活において常時介護が必要な方に対して、食事や排せつの支援とともに、機能訓練、体力づくり、創作的活動、季節に応じた行事、各種余暇活動の支援を行う生活介護事業を継続して実施しました。

利用者個々の障害特性を配慮し、安定して過ごせるようサービスの提供を行いました。

サービスの提供にあたっては、個々のニーズをくみ取れるよう家庭や相談支援事業所と連携し情報や支援方針の共有を行いました。

4. 今後の展開（改善や見直しが必要な点、事業など）

多様化、重度化、重複化、高齢化する利用者への支援並びに専門職による他施設への技術支援に対応できるように人員の確保と専門職の確保が必要となってきます。また、利用者の医療的ケアに対応していくために、職員体制を整えておく必要があります。

また、老朽化した分館が令和8年度末をもって使用停止となることから、本館での支援を安全かつ円滑に実施できるよう、検討と対応を進める必要があります。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	生活介護対象者支援事業	
	担当部署名	健康福祉部 あらき園	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	2－4 障害者福祉の推進	
	施策の展開内容	障害のあるすべての人の個性が尊重され、地域の中で自分らしく安心して暮らせるよう、介護、訓練、医療給付、相談支援など、総合的な支援体制を充実していきます。	
事務事業の目的 ・概要	・日常生活上の支援が必要な障害のある人に対し、食事や排せつなどの介護を行うとともに、軽作業などの生産活動や創作活動の機会を提供していきます。 ・障害に対する理解を深めるために、ボランティアなどの受け入れや地域住民との交流を推進します。		
関連する市の計画等	「我孫子市第6次健康福祉総合計画」、「第4期我孫子市障害者プラン」、「我孫子市障害者福祉施設等個別施設計画」、第5次行政改革推進プラン（福祉3施設の給食調理機能の最適化）		
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	利用者の健康管理		あらき園給排水設備改修工事
	利用者送迎サービス		あらき園食堂棟屋根及び外壁等改修工事
	給食サービス		あらき園換気設備改修工事
	支援技術の向上		あらき園幹線設備等改修工事
	リスクマネジメント		あらき園電灯設備等改修工事
	地域交流		摂食嚥下支援技術向上事業
	福祉人材の育成		リハビリテーション支援技術向上事業
	あらき園施設の維持管理		アニマルセラピー事業
	指 あらき園の老朽化対策		あらき園厨房改修及びこども発達センター渡り廊下設置工事
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業			

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	年度		人工	
						正職員	会計年度等
令和4年度	決算額	105,219	0	令和4年度（年度末時点）		11.20	24.00
令和5年度	決算見込額	70,524	0	令和5年度（年度末時点）		10.85	23.45
令和6年度	当初予算額	304,496	0	令和6年度	4月1日時点	11.05	23.62
	補正後予算額	302,644	0		年度末時点	11.05	25.80
	決算額	268,341	0				
	次年度へ繰越	0	0				

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	出席率	%	目標値	100	85	85	85	85	85	85
			実績値	81	80	80	79			
活動 指標	個別対応食の対応率（全利用者に対する個別対応食利用者数の割合）	%	目標値		80	82	83	84	84	85
			実績値	80	80	81	83			
活動 指標	摂食嚥下スーパーバイザーによる巡回給食指導を受けた延べ件数	件	目標値		30	30	30	30	30	30
			実績値	25	22	25	26			
成果 指標	利用者(保護者)の通所満足度	%	目標値		75	76	77	78	79	80
			実績値	75	76	75	88			
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
ほぼ順調	実績値については、活動指標の種別によって目標値に達していない内容もありますが、ほぼ問題なく実施し、利用者、保護者からも好評であったため、順調と評価しています。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	実績値については、活動指標の内容によって目標値が達成されていない内容もありますが、ほぼ順調に実施されており、引き続き推進します。今後の課題としては、多様化、重度化、重複化、高齢化する利用者への対応方法を検討していく必要があります。

令和6年度 課の目標管理書

課 名 : 健康福祉部 障害者福祉センター

1. 課の目標（部の運営方針に基づいた取組方針）

・地域活動支援センター事業では、障害のある方の自立と社会参加を促進するため、各種訓練を実施します。

・自立訓練（生活訓練）では、障害のある方の社会生活力を高めるための訓練を実施します。

・基幹機能強化事業では、民間の福祉施設の職員に対し、専門職による技術支援等を行います。

・障害のある方の社会参加を促進するため、手話講習会の開催、市内のバリアフリー情報の提供、失語のある人向け意思疎通支援事業を実施します。

・障害者就労支援センターでは、障害者が住み慣れた地域で自分らしく安心して生活できるように、チャレンジドオフィスあびこを実施して障害者の雇用の促進と、職場定着を支援します。

・障害者就労支援センターが中核となって、特別支援学校、ハローワーク、市内外の福祉施設等と連携し、支援体制の構築、強化を図ります。

2. 課の目標への取組結果

障害者福祉センター、障害者就労支援センターの目標で示したとおり、全取り組みを実施しました。

3. 取組結果に対する評価（所管する事務事業の取組を踏まえた評価）

民間の福祉施設と連携を図りながら、障害のある方々の自立と社会参加の促進を図ることができました。

障害者の就労に関わる関係機関と連携しながら、障害者の職場定着を図ることができました。

チャレンジドオフィスあびこの運営を通じて障害者の雇用の促進、就労定着の支援をしました。

4. 今後の展開（改善や見直しが必要な点、事業など）

障害者福祉センターは、令和8年度末までの施設利用を見込んでおり、関係機関と協議を重ねながら、実施している各事業について検討を行い、移行が必要な事業については令和7年度より順次引継ぎを行っていきます。

障害者就労支援センターは、令和6年度の取り組みを今後も継続していきます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	障害者の社会参加・自立支援	
	担当部署名	健康福祉部 障害者福祉センター	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	2－4 障害者福祉の推進	
	施策の展開内容	障害のあるすべての人の個性が尊重され、地域の中で自分らしく安心して暮らせるよう、介護、訓練、医療給付、相談支援など、総合的な支援体制を充実していきます。	
事務事業の目的 ・概要	・地域の公共施設やサービス提供機関、市民団体などと連携を図り、障害のある人が自立できるよう、日常生活訓練や運動機能訓練を行います。 ・障害のある人がイベントなどに参加できるよう支援し、障害に対する理解を深めます。		
関連する市の計画等			
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	自立訓練（生活訓練）事業		利用者送迎支援
	バリアフリー情報提供事業		地域活動支援センター事業
	基幹機能強化事業		
	失語のある人向け意思疎通支援者の派遣		
	手話講習会		
	障害者（本人及び団体）やボランティアに対する支援		
	障害者スポーツ大会		
	障害者福祉センターの維持管理		
	相談支援事業		
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業			

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	年度		人工	
						正職員	会計年度等
令和4年度	決算額	24,910	0	令和4年度（年度末時点）		3.20	5.10
令和5年度	決算見込額	14,400	0	令和5年度（年度末時点）		3.10	3.50
令和6年度	当初予算額	16,199	0	令和6年度	4月1日時点	3.10	3.50
	補正後予算額	15,952	0				
	決算額	15,268	0		年度末時点	3.10	3.50
	次年度へ繰越	0	0				

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	地域活動支援センター事業の訓練参加人数	人	目標値	80	70	60	50	50	50	－
			実績値	80	71	56	54			
活動 指標	自立訓練（生活訓練）の利用者の訓練参加人数	人	目標値	5	5	5	5	5	5	－
			実績値	5	1	0	0			
成果 指標	地域活動支援センター事業利用者の社会参加者数	人	目標値	30	25	20	15	15	15	－
			実績値	33	23	21	19			
成果 指標	自立訓練（生活訓練）の利用者のうち、社会参加を果たした人数	人	目標値	5	5	5	5	5	5	－
			実績値	4	1	0	0			
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
ほぼ順調	民間施設等と連携を図りながら社会参加支援ができました。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
事業を縮小する	令和8年度をもって施設の利用を終了することから、障害者福祉センターで実施している各事業について方針を決定していきます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	障害者の一般就労に関する相談・支援の実施		
	担当部署名	健康福祉部 障害者福祉センター		
基本計画における 位置づけ	基本施策名	4－2 就労支援の充実		
	施策の展開内容	関係機関と連携しながら、求職者に対する就業に向けた情報や相談の場の提供などにより、就労機会の創出と定着を図るとともに、働きやすい職場づくりを実践する事業者に対する支援などを行い、雇用環境の充実を図ります。		
事務事業の目的 ・概要	・ 障害者を雇用する事業者を支援し、障害者の雇用を促進していきます。 ・ 障害のある人がそれぞれの能力や特性に応じて安定して働き続けられるよう、就労に関する個別相談や定着のための支援などを実施するとともに、事業者や社会福祉法人などの関係機関と連携し、就労支援体制を強化します。			
関連する市の計画等				
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	障害者の一般就労に関する相談・支援の実施			
	障害者就労支援体制の構築			
	チャレンジドオフィスあびこの実施			
継続費設定事業				
債務負担行為設定事業				

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	人工	
				正職員	会計年度等
令和4年度	決算額	0	0		
令和5年度	決算見込額	135	0		
令和6年度	当初予算額	412	0		
	補正後予算額	383	0		
	決算額	221	0		
	次年度へ繰越	0	0		

年度		人工	
		正職員	会計年度等
令和4年度（年度末時点）		1.80	0.50
令和5年度（年度末時点）		1.80	5.40
令和6年度	4月1日時点	1.80	6.40
	年度末時点	1.80	5.30

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	支援対象者数	人	目標値	210	210	215	215	215	215	220
			実績値	217	184	152	153			
活動 指標	チャレンジドオフィスあびこスタッフ数（令和5年度開始）	人	目標値			3	4	4	5	5
			実績値			3	4			
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
ほぼ順調	就労に関する個別相談や就労定着支援、会議の開催等を行い、関係機関と連携しながら支援を行いました。 チャレンジドオフィスあびこでは規定数のスタッフ採用ができています。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	障害者の雇用を促進するためにチャレンジドオフィスあびこの運営、就労支援センターの事業を継続します。

令和6年度
課の目標管理書

課 名：健康福祉部 高齢者支援課

1. 課の目標（部の運営方針に基づいた取組方針）

○令和6年度が初年度となる「第9期介護保険事業計画・第10次高齢者保健福祉計画」に基づき、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう引き続き事業を推進します。

○高齢者がその有する能力に応じて自立した生活ができるよう、在宅医療と介護の連携、認知症対策、健康寿命延伸施策を推進し、日常生活の支援が包括的に確保される地域包括ケア体制の充実を図ります。さらに、地域住民やNPO、企業など多様な主体がサービス提供の担い手となり、高齢者の様々なニーズに対応する支援体制の構築・強化を推進します。

○高齢者の保健事業と介護予防の一体的な取組を推進し、高齢者が生き生きと暮らすまちを目指します。

○2か所の老人福祉センターの今後のあり方について、定めた方針に基づき、統合に向けた準備を進めていきます。

○介護保険料の多様な納付方法について周知し利便性に努め収納率を上げ安定的に運営します。

○災害や感染症対策にかかる支援体制の充実・強化を図ります。

2. 課の目標への取組結果

○「第9期介護保険事業計画・第10次高齢者保健福祉計画」に基づき各事業を推進しました。高齢者がその有する能力に応じて自立した生活ができるよう、在宅医療と介護の連携、認知症対策などを推進し、日常生活の支援が包括的に確保される地域包括ケアシステムの充実を図りました。さらに、今後不足する介護従事者の人材の確保対策として、市内の福祉事業所が出展する「福祉のしごと相談会」の開催、介護職員の研修費用への助成制度の創設等を行いました。

○高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業の取組を推進し、フレイル予防等の普及啓発活動を実施しました。また、健康状態が不明な高齢者等の健康状態の把握に努め、医療や介護サービス等につなげ、疾病予防・重症化予防に努めました。

○老人福祉センターのあり方方針に基づき、2か所の老人福祉センターを1館に統合しました。

○介護保険料の多様な納付方法については、スマートフォン決裁の導入・運用に加え、eLAXの導入検討等、更なる利便性の向上を目指し取り組みました。

○浸水想定区域や土砂災害警戒区域の介護保険施設において避難確保計画の策定について支援するとともに避難訓練の実施を促進しました。

3. 取組結果に対する評価（所管する事務事業の取組を踏まえた評価）

当初の予定どおり「介護保険事業計画・高齢者福祉計画」に基づき事業を推進したことにより、課の目標達成に向けた取り組みがおおむねできたと評価します。

4. 今後の展開（改善や見直しが必要な点、事業など）

高齢になっても住み慣れた地域で安心して暮らせるように、地域包括ケアシステムのさらなる深化を目指し、引き続き事業を確実に推進していきます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	成年後見制度利用の支援		
	担当部署名	健康福祉部 高齢者支援課		
基本計画における 位置づけ	基本施策名	2－1 地域福祉の推進		
	施策の展開内容	子どもから高齢者まですべての市民が、地域で安心して暮らせる地域共生社会を目指し、地区の特色を活かしなが ら、自助・互助・共助・公助それぞれが役割を担い、人と人のつながりや支え合いの推進体制を充実していきます。		
事務事業の目的 ・概要	認知症や障害の状態にともない判断能力が低下し、生活に支障が生じている人が尊厳を持って生活できるよう、成年後見制度活用に対する支援を実施しま す。			
関連する市の計画等	第9期介護保険事業計画・第10次高齢者保健福祉計画			
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	成年後見制度利用への支援			
継続費設定事業				
債務負担行為設定事業				

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	人工	
				正職員	会計年度等
令和4年度	決算額	6,183	0		
令和5年度	決算見込額	7,718	0		
令和6年度	当初予算額	8,671	0		
	補正後予算額	9,135	0		
	決算額	8,848	0		
	次年度へ繰越	0	0		

年度		人工	
		正職員	会計年度等
令和4年度（年度末時点）		0.55	0.40
令和5年度（年度末時点）		0.30	0.25
令和6年度	4月1日時点	0.60	0.25
	年度末時点	0.60	0.25

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	成年後見制度等に係る相談対応件数	件	目標値	なし	480	490	500	510	520	530
			実績値	586	601	614	830			
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
順調	相談に適宜対応し、成年後見制度の手続きを行える親族が不在の方には市が申立て手続きを行い、滞りなく実施することができました。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	今後も認知症の高齢者は増加が見込まれるため、制度の周知を一層図るとともに現状通り推進していきます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	高齢者の生きがいと健康づくり	
	担当部署名	健康福祉部 高齢者支援課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	2－3 高齢者福祉の推進	
	施策の展開内容	高齢になっても住み慣れた地域で自分らしく健康にいきいきと生活できるよう支援します。 また、地域での見守りを推進するとともに、地域包括ケアシステムを充実し、安心して暮らせる地域づくりを目指します。	
事務事業の目的 ・概要	高齢者が生きがいを持って充実した生活を送ることができるよう、地域で住民同士が交流できる場や健康づくりに参加できる環境を整えるとともに、就労機会の確保に努めます。		
関連する市の計画等	第9期介護保険事業計画・第10次高齢者保健福祉計画		
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業		きらめきデイサービスの促進	
		シルバー人材センターへの支援	
		老人福祉センターの運営	
		敬老祝金の贈呈	
		高齢社会への対応を探索事業の推進	
		老人クラブ活動の充実	
	指	老人福祉センターの在り方検討	
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業			

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	年度		人工	
						正職員	会計年度等
令和4年度	決算額	116,612	0	令和4年度（年度末時点）		0.90	0.50
令和5年度	決算見込額	119,267	0	令和5年度（年度末時点）		2.30	0.70
令和6年度	当初予算額	125,620	0	令和6年度	4月1日時点	2.60	0.60
	補正後予算額	121,889	0				
	決算額	121,047	0		年度末時点	2.20	0.60
	次年度へ繰越	0	0				

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	会員数（シルバー人材センター）	人	目標値	784	800	800	800	800	800	800
			実績値	615	614	594	580			
活動 指標	贈呈者数（敬老祝金）	人	目標値	716	762	808	808	808	808	808
			実績値	732	737	882	829			
活動 指標	イベント等の来場者数（高齢社会への対応を探索会）	人	目標値	500	500	500	500	500	500	500
			実績値	457	668	767	813			
活動 指標	会員数（老人クラブ）	人	目標値	2,010	2,010	2,010	2,010	2,010	2,010	2,010
			実績値	1,670	1,539	1,389	1,308			
活動 指標	年間延べ利用者数（老人福祉センター 2 施設合計）	人	目標値	65,700	65,900	66,100	66,100	38,800	38,800	38,800
			実績値	11,742	25,363	40,692	43,901			
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
ほぼ順調	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策の影響から徐々に回復してきています。前期高齢者の生活様式の変化や後期高齢者の増加などにより目標値に届かない事業があるが、市内の高齢者の年齢構成や 6 0 代の就労状況を鑑みれば概ね順調であると考えられます。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
事業内容を見直す	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策の影響から徐々に回復してきているものの、前期高齢者の生活様式の変化や後期高齢者の増加などにより目標値に届かない事業があります。高齢者の生きがいと健康づくりのために今後も推進していく必要がありますが、内容等は適宜見直していきます。老人福祉センター（令和 7 年度から高齢者福祉センターに改称）は、施設の老朽化による維持コストの増加、利用者の固定化などの理由から、2 館を 1 館に統合して運営します。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	介護予防の推進	
	担当部署名	健康福祉部 高齢者支援課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	2－3 高齢者福祉の推進	
	施策の展開内容	高齢になっても住み慣れた地域で自分らしく健康にいきいきと生活できるよう支援します。 また、地域での見守りを推進するとともに、地域包括ケアシステムを充実し、安心して暮らせる地域づくりを目指します。	
事務事業の目的 ・概要	高齢者が介護予防の必要性を理解し、身近な地域で自ら介護予防に取り組むことができる環境を整えるとともに、適切なサービスなどにつなぐことで疾病予防・重症化予防を推進します。		
関連する市の計画等	第9期介護保険事業計画・第10次高齢者保健福祉計画		
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	一般介護予防事業の推進		
	介護予防・生活支援サービス事業の推進		
	介護予防マネジメントの管理		
	地域介護予防活動の支援		
	高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業		
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業			

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	人工	
				正職員	会計年度等
令和4年度	決算額	282,419	0	令和4年度（年度末時点）	5.00 3.20
令和5年度	決算見込額	286,922	0	令和5年度（年度末時点）	2.90 3.60
令和6年度	当初予算額	376,042	0	令和6年度	4月1日時点 2.90 3.20
	補正後予算額	335,872	0		
	決算額	319,188	0		
	次年度へ繰越	0	0	令和6年度	年度末時点 2.90 3.20

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	遊具うんどう教室・介護予防教室・出前講座・講演会の参加者数	人	目標値	1,250	1,270	1,290	1,290	1,290	1,290	1,290
			実績値	1,214	1,376	1,980	2,015			
活動 指標	要介護認定に至らない高齢者の増加（1号被保険者の介護保険認定率／推定値）	%	目標値	100	100	100	100	100	100	100
			実績値	99	97	100	102			
活動 指標	介護予防強化型きらめきディサービスへの参加者数	人	目標値	12,720	13,440	14,040	14,040	14,040	14,040	14,040
			実績値	6,504	7,552	7,738	8,950			
活動 指標	一体的実施ポピュレーションアプローチにおけるフレイル予防の理解度	%	目標値	95	95	95	95	95	95	95
			実績値	99	99	99	98			
活動 指標	介護保険ボランティアポイント制度の登録者数	人	目標値	580	590	600	610	610	610	620
			実績値	450	410	384	335			
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
ほぼ順調	ボランティア制度登録者数はコロナ禍の影響が続き減少していますが、介護予防事業の参加者は増加傾向、フレイル理解度も目標値以上を維持できており概ね順調です。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	高齢者や要介護（要支援）認定者が増加しているなか、多くの高齢者に介護予防の知識を普及するとともに、早い段階から介護予防への取り組みが重要となります。今後も継続して知識の普及啓発や地域の高齢者の活躍できる機会を確保していく必要があります。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	高齢者のための地域福祉の推進	
	担当部署名	健康福祉部 高齢者支援課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	2－3 高齢者福祉の推進	
	施策の展開内容	高齢になっても住み慣れた地域で自分らしく健康にいきいきと生活できるよう支援します。 また、地域での見守りを推進するとともに、地域包括ケアシステムを充実し、安心して暮らせる地域づくりを目指します。	
事務事業の目的 ・概要	・高齢者やその家族からの相談に対して、関係機関と連携しながら課題解決に向けた支援を実施します。 ・高齢者の意思を尊重した最適なサービスが利用できるよう、介護サービス計画に係る情報の共有とケアマネジャーの資質の向上を図ります。		
関連する市の計画等	第9期介護保険事業計画・第10次高齢者保健福祉計画		
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	ケアマネジャー支援事業		
	高齢者なんでも相談室の運営・支援		
	地域ケア会議の開催		
	生活支援体制整備事業の推進		
	高齢者虐待防止		
	社会福祉法人介護サービス利用料減免の充実		
	新型コロナウイルス感染症への対策事業		
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業			

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	年度		人工	
						正職員	会計年度等
令和4年度	決算額	206,048	0	令和4年度（年度末時点）		4.80	2.50
令和5年度	決算見込額	184,327	0	令和5年度（年度末時点）		4.60	1.70
令和6年度	当初予算額	180,397	0	令和6年度	4月1日時点	5.40	2.00
	補正後予算額	179,397	0				
	決算額	144,609	0		年度末時点	6.30	2.00
	次年度へ繰越	0	0				

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	地域包括ケア会議の開催回数	回	目標値	15	18	21	24	27	28	33
			実績値	18	23	28	24			
成果 指標	市内全指定居宅介護支援事業者への相談支援数 （市内6高齢者なんでも相談室での相談件数）	件	目標値	500	510	520	530	530	540	540
			実績値	1,317	713	2,020	2,911			
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
順調	高齢者数の増加に比例して困難事例の相談も増加傾向にあり、地域包括ケア会議も適宜開催し、順調に実施することができました。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	今後も相談対応件数の増加が見込まれるため、現状通り推進します。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	高齢者在宅支援事業	
	担当部署名	健康福祉部 高齢者支援課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	2－3 高齢者福祉の推進	
	施策の展開内容	高齢になっても住み慣れた地域で自分らしく健康にいきいきと生活できるよう支援します。 また、地域での見守りを推進するとともに、地域包括ケアシステムを充実し、安心して暮らせる地域づくりを目指します。	
事務事業の目的 ・概要	高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、市民団体や福祉サービス事業所など、あらゆる主体と協力しながら、身近な場所で必要な生活支援サービスを利用できる環境をつくります。		
関連する市の計画等	第9期介護保険事業計画・第10次高齢者保健福祉計画		
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	居宅介護支援助成		
	老人福祉電話の推進		
	緊急通報システムの充実		
	高齢者移送サービスの促進		
	在宅医療・介護連携推進事業		
	配食サービス		
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業			

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	年度		人工	
						正職員	会計年度等
令和4年度	決算額	17,714	0	令和4年度（年度末時点）		2.90	0.30
令和5年度	決算見込額	20,976	0	令和5年度（年度末時点）		0.55	0.20
令和6年度	当初予算額	34,294	0	令和6年度	4月1日時点	0.65	0.20
	補正後予算額	31,575	0				
	決算額	29,669	0		年度末時点	0.95	0.20
	次年度へ繰越	0	0				

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	助成件数（居宅介護支援助成）	件	目標値	1	1	1	1	1	1	1
			実績値	0	0	0				
活動 指標	助成件数（住宅改造）	件	目標値	1	1	1	—	—	—	—
			実績値	0	1	0	—	—	—	—
活動 指標	設置者数（緊急通報システム）	人	目標値	210	210	210	210	210	210	210
			実績値	192	192	179	165			
活動 指標	助成件数（高齢者移送サービス）	件	目標値	3,450	3,460	3,470	3,470	3,470	3,470	3,470
			実績値	2,775	2,900	2,738	3,183			
活動 指標	助成件数（高齢者賃貸住宅住み替え助成）	件	目標値	1	1	1	—	—	—	—
			実績値	0	0	0	—	—	—	—
活動 指標	年間延べ貸与台数（老人福祉電話）	台	目標値	13	12	12	12	12	12	12
			実績値	14	16	13	10			
活動 指標	年間延べ配食数（配食サービス）	食	目標値	26,700	26,800	26,800	26,800	26,800	26,800	26,800
			実績値	26,002	22,060	23,977	22,732			

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
ほぼ順調	後期高齢者の増加などにより要介護認定の状況や生活状況が変化し、目標値に届かないと考えられる事業がありますが、市内の高齢者の年齢構成を鑑みれば概ね順調と考えられます。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
事業内容を見直す	前期高齢者が減少し後期高齢者が増加する傾向が続いており、要介護認定の状況や生活状況が変化することに伴い、サービスなどの要望も変化していくと考えられます。高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けるためには必要な事業であり、内容については適宜、見直していきます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	認知症高齢者の支援		
	担当部署名	健康福祉部 高齢者支援課		
基本計画における 位置づけ	基本施策名	2－3 高齢者福祉の推進		
	施策の展開内容	高齢になっても住み慣れた地域で自分らしく健康にいきいきと生活できるよう支援します。 また、地域での見守りを推進するとともに、地域包括ケアシステムを充実し、安心して暮らせる地域づくりを目指します。		
事務事業の目的 ・概要	認知症高齢者とその家族が住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、認知症の早期発見、早期支援を行うとともに、認知症を正しく理解し、認知症高齢者とその家族を地域で支える取組を進めます。			
関連する市の計画等	第9期介護保険事業計画・第10次高齢者保健福祉計画			
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	SOSネットワーク事業			
	徘徊探知システム			
	認知症高齢者グループホーム利用料助成事業の推進			
	認知症早期発見事業			
	認知症地域支援推進事業			
継続費設定事業				
債務負担行為設定事業				

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	人工	
				正職員	会計年度等
令和4年度	決算額	7,894	0	令和4年度（年度末時点）	1.80 0.10
令和5年度	決算見込額	8,706	0	令和5年度（年度末時点）	1.40 0.05
令和6年度	当初予算額	16,518	0	令和6年度	4月1日時点 1.50 0.05
	補正後予算額	11,782	0		
	決算額	10,231	0		
	次年度へ繰越	0	0	令和6年度	年度末時点 1.70 0.05

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	認知症に関する相談受付件数	件	目標値	710	720	730	740	740	750	750
			実績値	628	820	835	1,146			
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
順調	認知症に関する相談は増加傾向にあり、内容に応じて医療・介護サービス等の情報提供、調整を図り、順調に実施することができました。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	認知症の人の増加に対応するため、認知症に関する啓発・制度周知・ネットワーク構築を図ります。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	社会福祉施設入所支援	
	担当部署名	健康福祉部 高齢者支援課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	2－3 高齢者福祉の推進	
	施策の展開内容	高齢になっても住み慣れた地域で自分らしく健康にいきいきと生活できるよう支援します。 また、地域での見守りを推進するとともに、地域包括ケアシステムを充実し、安心して暮らせる地域づくりを目指します。	
事務事業の目的 ・概要	・在宅での生活が困難な高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らしていくためのサービスを提供する社会福祉施設の整備を進めます。 ・高齢者の状態に応じて、適切な施設に入所できるよう支援します。		
関連する市の計画等	第9期介護保険事業計画・第10次高齢者保健福祉計画		
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	社会福祉施設の整備		
	特別養護老人ホーム・養護老人ホーム入所措置		
	広域型特別養護老人ホームの整備		
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業			

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	人工	
				正職員	会計年度等
令和4年度	決算額	21,863	5,980	令和4年度（年度末時点）	0.45 0.20
令和5年度	決算見込額	48,780	0	令和5年度（年度末時点）	0.35 0.20
令和6年度	当初予算額	133,268	0	令和6年度	4月1日時点 0.55 0.30
	補正後予算額	129,692	0		
	決算額	128,101	0		
	次年度へ繰越	0	0	令和6年度	年度末時点 0.55 0.30

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	措置者数（養護老人ホーム）	人	目標値	8	9	9	9	9	9	9
			実績値	8	6	7	5			
活動 指標	措置者数（やむを得ない事由）	人	目標値	8	9	9	9	9	9	9
			実績値	19	15	14	14			
活動 指標	第8期介護保険事業計画に基づき整備する特別 養護老人ホームの整備	箇所	目標値	0	0	0	1	0	0	0
			実績値	0	0	0	1			
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
順調	措置や、やむを得ない措置が必要な高齢者の生活と権利を守るために、必要な高齢者に対して迅速に居宅サービスを提供することができました。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	今後、後期高齢者が徐々に増えていく中で、施設入所者の待機者数が増大しないよう施設整備を進めていきます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	介護保険制度の運営	
	担当部署名	健康福祉部 高齢者支援課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	2－5 生活支援の推進	
	施策の展開内容	年齢や性別に関わらず、誰もが地域の中で安心して暮らせるよう、関係機関と連携を図りながら、相談支援体制を充実していきます。 生涯にわたって安心して生活できるよう、必要な医療・介護・年金などの社会保障制度の円滑な運営に努めるとともに、市民の健康の保持増進を図ります。	
事務事業の目的 ・概要	・介護を必要とする人に適切なサービスを提供できるよう、要支援・要介護者の状態に合わせた認定とサービスの質の向上に努めます。 ・介護保険制度を健全に運営するため、納付方法の多様化により利便性を向上させるとともに、保険料の収納率向上を図ります。		
関連する市の計画等	第9期介護保険事業計画・第10次高齢者保健福祉計画		
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	介護保険に関する苦情・相談窓口		地域密着型サービス事業者の指定・指導・監督事務
	介護保険サービスの適正化		介護保険事業計画の推進
	介護保険賦課徴収		介護相談員派遣
	住宅改修費・福祉用具購入費支給		居宅介護支援助成
	居宅介護サービス等給付		介護保険事業計画の策定
	高額介護サービス費等支給		
	介護保険受給資格・管理運営		
	介護認定審査会		
	介護認定調査		
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業			

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	人工	
				正職員	会計年度等
令和4年度	決算額	10,035,469	0	令和4年度（年度末時点）	7.39 17.32
令和5年度	決算見込額	9,900,374	0	令和5年度（年度末時点）	7.20 18.40
令和6年度	当初予算額	11,241,837	0	令和6年度	4月1日時点 7.20 18.40
	補正後予算額	11,632,389	0		
	決算額	11,365,993	0		
	次年度へ繰越	0	0	令和6年度	年度末時点 8.20 17.60

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	認定申請件数	件	目標値	7,200	7,200	7,200	7,200	7,200	7,200	7,200
			実績値	5,379	5,319	5,726	5,511			
活動 指標	介護給付の適正化（認定データと給付データの 突合件数）	件	目標値	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000
			実績値	5,507	6,064	5,440	5,504			
活動 指標	介護相談員の活動派遣施設数	施設	目標値	29	29	29	29	29	29	29
			実績値	0	0	0	10			
成果 指標	要介護認定申請日から30日以内に決定した割合	%	目標値	100	100	100	100	100	100	100
			実績値	12	8	6	3			
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
ほぼ順調	高齢化の進展により要介護申請から認定まで30日超が常態化していますが、想定範囲内であり、今後介護情報基盤の整備により改善が見込まれることから、介護保険制度の運営全体ではほぼ順調と評価しています。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	今後、高齢者数増加による介護サービスへのニーズが高まる中で、介護を必要とする人に適切なサービスを提供できるよう、引き続き事業を確実に推進していきます。

令和6年度 課の目標管理書

課 名：健康福祉部 国保年金課

1. 課の目標（部の運営方針に基づいた取組方針）

◎国民健康保険事業は、被保険者の高齢化や医療技術の進歩などに伴い一人当たりの保険給付費の増加傾向が続いている中、被保険者が安心して生活できるように必要な保険給付を適正に行っていきます。また、保健事業にあたっては、第3期データヘルス計画に基づいた糖尿病性腎症重症化予防事業や生活習慣病予防事業などの保健事業を推進するとともに、短期人間ドックなどの助成事業においても適正に実施し、生活習慣病予防に努めます。

特定健康診査・特定保健指導事業についても、受診率の向上を目指し健康づくり支援課と連携を図っていきます。

国民健康保険税は、事業を安定的に運営していく上で重要な財源であることから、公平かつ公正に賦課するとともに、財産調査の結果に基づく滞納処分等を実施し、滞納世帯の減少及び収納率の向上に努めます。

国民健康保険の広域化については、引き続き保険者である県と連携し円滑な運用が図られるよう迅速な対応に努めるとともに、県が算定する標準保険税率や納付金を参考に保険税率の検討を進め、適切に対応していきます。

マイナンバーカードと健康保険証の一体化により健康保険証が廃止されることに伴い、マイナンバーカードを保有しない被保険者などが引き続き医療を受けられるよう資格確認書を交付します。

◎後期高齢者医療制度については、被保険者が安心して医療を受けられるよう千葉県後期高齢者医療広域連合と連携を図りながら、きめ細やかな対応や情報提供を行うとともに、制度の運営が適切かつ円滑に行われるよう努めます。

◎国民年金事務については、資格の得喪届出や裁定請求の受理・審査などの法定受託事務及び年金の納付記録に関する問い合わせなどについて、松戸年金事務所と連携を図りながら丁寧な対応に努めます。

2. 課の目標への取組結果

課の目標で示したとおり、全取組を実施しました。なお、保健事業については、効果的・効率的な実施を図るため、令和6年度を始期とする「第3期データヘルス計画・第4期特定健康診査等実施計画」に基づいた事業を実施しました。また、国民健康保険の広域化については、県が算定する標準保険税率や納付金を参考に保険税率の検討を進めた結果、令和7年度の税率改定を決定しました。

3. 取組結果に対する評価（所管する事務事業の取組を踏まえた評価）

国民健康保険の被保険者の多くは、年齢構成が高く、所得については低い傾向にあります。また、医療技術の高度化や高齢化の進展から一人当たりの医療費は増加傾向となっています。被保険者が必要な医療を安心して受けられるよう健全な運営を目指すため、主たる財源である国民健康保険税や後期高齢者医療保険料の収納率の向上を図るとともに、データヘルス計画に基づいた各種事業を実施し、被保険者の健康寿命の延伸を目指した上で医療費の適正化を図ることが重要であると考えます。

4. 今後の展開（改善や見直しが必要な点、事業など）

今後も引き続き各制度を適切かつ円滑に運営するため各種事業を推進していきます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	市民の自主的な健康づくりの推進（国保）	
	担当部署名	健康福祉部 国保年金課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	2－2 健康づくりの推進	
	施策の展開内容	健康寿命の延伸を目指し、ライフステージに応じて、市民一人ひとりが主体的な健康づくりに取り組みやすい環境づくりを進めます。 また、関係機関と連携しながら、地域医療体制の充実を図るとともに、感染症対策に取り組みます。	
事務事業の目的 ・概要	生活習慣病のリスクがある人に保健指導や受診勧奨を行うなど、重症化予防対策に取り組みます。		
関連する市の計画等	第3期我孫子市国民健康保険データヘルス計画		
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	特定健康診査未受診者対策事業		
	生活習慣病治療中断者等受診勧奨事業		
	特定保健指導未利用者対策事業		
	糖尿病性腎症重症化予防事業		
	重複服薬患者への指導事業		
	後発医薬品の普及・啓発事業		
	健康寿命延伸のための包括的啓発事業		
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業	糖尿病性腎症重症化予防事業R6～R8年度 17,457千円		

2. 事業費及び人工（Plan & Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	年度		人工	
						正職員	会計年度等
令和4年度	決算額	131,154	0	令和4年度（年度末時点）		2.20	0.80
令和5年度	決算見込額	121,740	0	令和5年度（年度末時点）		3.25	0.80
令和6年度	当初予算額	141,356	0	令和6年度	4月1日時点	3.00	0.80
	補正後予算額	132,954	0				
	決算額	115,635	0		年度末時点	3.00	0.80
	次年度へ繰越	0	0				

3. 指標及び実績値（Plan & Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	保健指導参加勧奨通知の発送割合【糖尿病性腎症重症化予防事業】	%	目標値	100	100	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	100	100			
活動 指標	受診勧奨通知の発送割合【糖尿病性腎症重症化予防事業、生活習慣病治療中断者受診勧奨事業】	%	目標値	【糖】100 【生】100	【糖】100 【生】100	【糖】100 【生】100	【糖】100 【生】100	【糖】100 【生】100	【糖】100 【生】100	【糖】100 【生】100
			実績値	【糖】100 【生】100	【糖】100 【生】100	【糖】100 【生】100	【糖】100 【生】100			
活動 指標	受診勧奨対象者のうち、電話番号を把握している者への電話勧奨実施率【糖尿病性腎症重症化予防事業、生活習慣病治療中断者受診】	%	目標値	【糖】40 【生】20	【糖】40 【生】20	【糖】40 【生】20	【糖】40 【生】20	【糖】40 【生】20	【糖】40 【生】20	【糖】40 【生】20
			実績値	【糖】59.0 【生】44.9	【糖】90.7 【生】28.7	【糖】100 【生】100	【糖】100 【生】100			
活動 指標	後期高齢者医療被保険者に対するはり・きゅう利用率	%	目標値	95.0	96.0	97.0	97.0	97.0	97.0	97.0
			実績値	47.1	50.8	50	51			
成果 指標	保健指導完了者のうち、検査結果が維持または改善した者の割合【糖尿病性腎症重症化予防事業】	%	目標値	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0
			実績値	75.0	66.7	33.0	66.7			
成果 指標	受診勧奨対象者のうち、受診を再開した者の割合【糖尿病性腎症重症化予防事業、生活習慣病治療中断者受診勧奨事業】	%	目標値	【糖】10 【生】10	【糖】10 【生】10	【糖】10 【生】10	【糖】10 【生】10	【糖】10 【生】10	【糖】10 【生】10	【糖】10 【生】10
			実績値	【糖】14 【生】17	【糖】8.6 【生】5.3	【糖】9.5 【生】17.4	【糖】12.5 【生】10.6			
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
順調	引き続き、目標達成を目指して取り組んでいきます。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	数値が向上した指標がある一方で、悪化したものもありました。現在の目標値を基準に、安定した成果を上げることを目指していきます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	国民健康保険制度の運営		
	担当部署名	健康福祉部 国保年金課		
基本計画における 位置づけ	基本施策名	2－5 生活支援の推進		
	施策の展開内容	年齢や性別に関わらず、誰もが地域の中で安心して暮らせるよう、関係機関と連携を図りながら、相談支援体制を充実していきます。 生涯にわたって安心して生活できるよう、必要な医療・介護・年金などの社会保障制度の円滑な運営に努めるとともに、市民の健康の保持増進を図ります。		
事務事業の目的 ・概要	国民健康保険制度を健全に運営するため、国民健康保険税率や負担割合などについて、被保険者に対して丁寧な説明と正確な情報提供を行っていくとともに、国民健康保険税の収納率向上を図ります。			
関連する市の計画等				
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	国保税の啓発			
	国保税の収納			
	国保税の滞納整理			
	国保税の賦課			
	国保運営協議会			
	国民健康保険窓口業務等の委託事業			
	被保険者証・受給者証の交付更新			
	保険給付事業			
継続費設定事業				
債務負担行為設定事業	国民健康保険窓口等業務委託R6～R8年度 70,383千円			

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	人工	
				正職員	会計年度等
令和4年度	決算額	11,089,187	0	令和4年度（年度末時点）	9.97 9.60
令和5年度	決算見込額	11,277,728	0	令和5年度（年度末時点）	10.75 9.60
令和6年度	当初予算額	11,566,372	0	令和6年度	4月1日時点 10.00 8.40
	補正後予算額	11,106,079	0		
	決算額	10,610,325	0		
	次年度へ繰越	0	0	令和6年度	年度末時点 10.00 8.40

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	来庁に対する民間事業者の窓口受付対応率	%	目標値	100	100	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	100	100			
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
順調	適正な国民健康保険事業の運営ができました。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	国民健康保険制度を健全に運営するため資格や賦課の適正化に努めるとともに、保険税の徴収率の向上を図ります。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	後期高齢者医療制度の運営		
	担当部署名	健康福祉部 国保年金課		
基本計画における 位置づけ	基本施策名	2－5 生活支援の推進		
	施策の展開内容	年齢や性別に関わらず、誰もが地域の中で安心して暮らせるよう、関係機関と連携を図りながら、相談支援体制を充実していきます。 生涯にわたって安心して生活できるよう、必要な医療・介護・年金などの社会保障制度の円滑な運営に努めるとともに、市民の健康の保持増進を図ります。		
事務事業の目的 ・概要	後期高齢者医療制度を健全に運営するため、保険料や負担割合などについて、被保険者に対して丁寧な説明と正確な情報提供を行っていくとともに、保険料の収納率向上を図ります。			
関連する市の計画等				
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	後期高齢者医療窓口業務等の委託事業			
	後期高齢者医療広域連合負担金			
	後期高齢者医療事務			
継続費設定事業				
債務負担行為設定事業	後期高齢者医療窓口等業務委託R6～R8年度 39,591千円			

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	人工	
				正職員	会計年度等
令和4年度	決算額	3,744,089	0	令和4年度（年度末時点）	2.75 0.80
令和5年度	決算見込額	3,547,230	0	令和5年度（年度末時点）	2.75 0.80
令和6年度	当初予算額	4,170,157	0	令和6年度	4月1日時点 2.80 0.80
	補正後予算額	4,136,954	0		
	決算額	4,133,859	0		
	次年度へ繰越	0	0	令和6年度	年度末時点 2.80 1.60

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	来庁に対する民間事業者の窓口受付対応率	%	目標値	100	100	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	100	100			
活動 指標	広域連合負担金負担分の支出	%	目標値	100	100	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	100	100			
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
順調	適正な後期高齢者医療保険事業の運営ができました。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	後期高齢者医療保険制度を健全に運営するため、資格や賦課の適正化に努めるとともに、保険料の収納率の向上を図ります。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	国民年金制度の運営		
	担当部署名	健康福祉部 国保年金課		
基本計画における 位置づけ	基本施策名	2－5 生活支援の推進		
	施策の展開内容	年齢や性別に関わらず、誰もが地域の中で安心して暮らせるよう、関係機関と連携を図りながら、相談支援体制を充実していきます。 生涯にわたって安心して生活できるよう、必要な医療・介護・年金などの社会保障制度の円滑な運営に努めるとともに、市民の健康の保持増進を図ります。		
事務事業の目的 ・概要	国民年金制度の長期的な安定を図るため、制度内容の周知や窓口相談体制の充実に努め、制度への加入の促進と保険料の納付率向上を図ります。			
関連する市の計画等				
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	国民年金加入促進及び納付奨励			
継続費設定事業				
債務負担行為設定事業				

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	人工	
				正職員	会計年度等
令和4年度	決算額	383	0	令和4年度（年度末時点）	3.15 2.40
令和5年度	決算見込額	316	0	令和5年度（年度末時点）	4.15 2.40
令和6年度	当初予算額	424	0	令和6年度 4月1日時点	4.20 2.40
	補正後予算額	424	0		
	決算額	234	0		
	次年度へ繰越	0	0	年度末時点	3.20 3.20

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	国民年金の届出・申請等の受理に係る年金機構 への報告率	%	目標値	100	100	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	100	100			
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
順調	日本年金機構と連携を図りながら、適正な国民年金事業の運営ができました。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	国民年金制度の長期的な安定を図る上で、制度内容の周知や保険料納付率の向上を図る必要があり、今後も推進していきます。